

平成27年人口動態統計月報年計（概数）の概況

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課
 課長 廣瀬 滋樹 (内線 7461)
 課長補佐 山口 浩司 (内線 7475)
 担当係 月報調整係 (内線 7476)
 (代表電話) 03-5253-1111
 (直通電話) 03-3595-2813

平成 27 年 人口動態統計月報年計(概数) の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	
1 結果の要約	2
2 出生	
(1) 出生数	4
(2) 合計特殊出生率	6
3 死亡	
(1) 死亡数・死亡率	8
(2) 死因	10
4 婚姻	14
5 離婚	16
統計表	
第1表 人口動態総覧の年次推移	20
第2表 人口動態総覧(率)の年次推移	24
第3表 出生数の年次推移, 母の年齢(5歳階級)別	28
第4表 出生数の年次推移, 出生順位別	28
第5表 死亡率(人口10万対)の年次推移, 性・年齢(5歳階級)別	29
第6表 死亡数・死亡率(人口10万対), 死因简单分類別	32
第7表 死因順位(1~5位)別死亡数・死亡率(人口10万対), 性・年齢(5歳階級)別	36
第8表 人口動態総覧, 都道府県(21大都市再掲)別	42
第9表 人口動態総覧(率), 都道府県(21大都市再掲)別	44
第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対), 都道府県(21大都市再掲)別	46
参 考	
合計特殊出生率について	48
人口動態総覧(率)の国際比較	52
分母に用いた人口	52

この資料は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

(掲載場所 URL) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai15/index.html>

調査の概要

- 1 調査の目的 人口動態調査は、我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成 27 年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。
- 3 調査の期間 平成 27 年 1 月 1 日～同年 12 月 31 日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統

市区町村	-----	保健所	-----	都道府県	-----	厚生労働省
		└───┬───┘				
		保健所を 設置する市				
				└───┬───┘		
				保健所を 設置する市		
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

※人口動態調査は、統計法に基づく基幹統計「人口動態統計」を作成するための統計調査である。

<利用上の注意>

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数	数値：概数	数値：確定数 (概数に修正を加えたもの)
集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 (いずれも前年以前発生のものを含む)	集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く)	集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲)
公表：毎月 (調査月の約2か月後)	公表：毎月 (調査月の約5か月後) ※ : 毎年(年間合計) (調査年の翌年6月)	公表：毎年 (調査年の翌年9月)

※本概況は中央の破線の部分である。

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	…
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0
減少数(率)の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の説明

自然増減：出生数から死亡数を減じたもの
 乳児死亡：生後1年未満の死亡
 新生児死亡：生後4週未満の死亡
 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
 死産：妊娠満12週以後の死児の出産
 周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
 合計特殊出生率：その年次の15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその期間合計特殊出生率の年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。(実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。)

- 4 この概況で使用した数値は、平成 26 年以前は確定数である。
- 5 昭和 47 年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和 19～21 年は資料不備のため省略した。
- 6 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

結果の概要

1 結果の要約

(1) 出生数は増加

出生数は100万5656人で、前年の100万3539人より2117人増加し、出生率（人口千対）は8.0で前年と同率となっている。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、29歳以下の各階級では前年より減少しているが、30歳以上の各階級では前年より増加している。

また、出生順位別にみると、第1子では前年より増加しているが、第2子及び第3子以上では前年より減少している。

(2) 死亡数は増加

死亡数は129万428人で、前年の127万3004人より1万7424人増加し、死亡率（人口千対）は10.3で前年の10.1より上昇している。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物（全死亡者に占める割合は28.7%）、第2位は心疾患（同15.2%）、第3位は肺炎（同9.4%）となっており、死亡者のおよそ3.5人に1人は悪性新生物で死亡している。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△28万4772人で、前年の△26万9465人より1万5307人減少し、自然増減率（人口千対）は△2.3で前年の△2.1より低下し、数・率ともに9年連続で減少かつ低下している。

自然増減数が増加した都道府県は、沖縄県（5615人）、愛知県（1557人）、東京都（1537人）、滋賀県（115人）であった。

(4) 死産数は減少

死産数は2万2621胎で、前年の2万3524胎より903胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は22.0で前年の22.9より低下している。死産率のうち、自然死産率は10.6で前年と同率、人工死産率は11.4で前年の12.3より低下している。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は63万5096組で、前年の64万3749組より8653組減少し、婚姻率（人口千対）は5.1で前年と同率となっている。

平均初婚年齢は夫31.1歳、妻29.4歳で、夫妻ともに前年と同年齢となっている。

(6) 離婚件数は増加

離婚件数は22万6198組で、前年の22万2107組より4091組増加し、離婚率（人口千対）は1.80で前年の1.77より上昇している。

表1 人口動態総覧

	実 数 (人、胎、組)			率		平均発生間隔	
	平成27年 概数	平成26年 確定数	対前年増減	平成27年 概数値	平成26年 確定値	平成27年 概数値	平成26年 確定値
出生	1 005 656	1 003 539	2 117	8.0	8.0	31s	31s
死亡	1 290 428	1 273 004	17 424	10.3	10.1	24s	25s
乳児死亡	1 916	2 080	△ 164	1.9	2.1	4h 34m 19s	4h 12m 42s
新生児死亡	902	952	△ 50	0.9	0.9	9h 42m 42s	9h 12m 6s
自然増減	△ 284 772	△ 269 465	△ 15 307	△ 2.3	△ 2.1	…	…
死産	22 621	23 524	△ 903	22.0	22.9	23m 14s	22m 21s
自然死産	10 858	10 905	△ 47	10.6	10.6	48m 24s	48m 12s
人工死産	11 763	12 619	△ 856	11.4	12.3	44m 41s	41m 39s
周産期死亡	3 729	3 750	△ 21	3.7	3.7	2h 20m 57s	2h 20m 10s
妊娠満22週 以後の死産	3 064	3 039	25	3.0	3.0	2h 51m 32s	2h 52m 57s
早期新生児 死亡	665	711	△ 46	0.7	0.7	13h 10m 23s	12h 19m 14s
婚姻	635 096	643 749	△ 8 653	5.1	5.1	50s	49s
離婚	226 198	222 107	4 091	1.80	1.77	2m 19s	2m 22s

	平成27年 概数値	平成26年 確定値
合計特殊出生率	1.46	1.42

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児死亡・新生児死亡・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

2 出生

(1) 出生数

平成27年の出生数は100万5656人で、前年の100万3539人より2117人増加し、出生率(人口千対)は8.0と前年と同率となっている(表1)。

出生数の年次推移をみると、昭和24年の269万6638人をピークに、昭和50年以降は減少と増加を繰り返しながら減少傾向が続いており、平成23年から減少していたが、5年ぶりに増加している(図1)。

母の年齢(5歳階級)別では、母の年齢が30歳以上の階級では前年より増加し、出生順位別では、第2子及び第3子以上では減少したが、第1子では増加している。

母の年齢が40歳以上の出生では、出生数は約5万4千人であり、うち第1子は約2万1千人で、40歳以上の出生に占める第1子の割合は39.1%となっている。(表2)

第1子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあり、平成27年は30.7歳となっている(表3)。

図1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

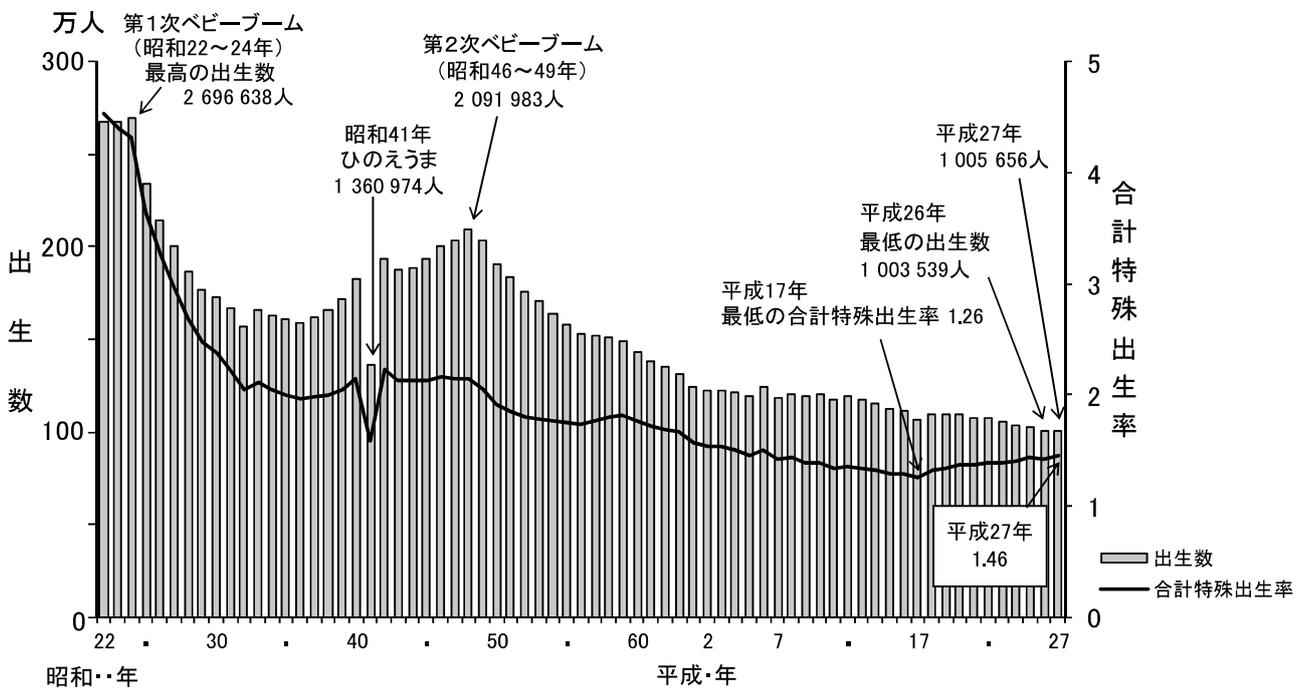


表2 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数の年次推移

母の年齢	出生数（人）				対前年増減（人）		
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	25年-24年	26年-25年	27年-26年
総数	1 037 231	1 029 816	1 003 539	1 005 656	△ 7 415	△ 26 277	2 117
19歳以下	12 770	12 964	13 011	11 927	194	47	△ 1 084
20～24	95 805	91 250	86 590	84 459	△ 4 555	△ 4 660	△ 2 131
25～29	292 464	282 794	267 847	262 251	△ 9 670	△ 14 947	△ 5 596
30～34	367 715	365 404	359 323	364 863	△ 2 311	△ 6 081	5 540
35～39	225 480	229 741	225 889	228 289	4 261	△ 3 852	2 400
40～44	42 031	46 546	49 606	52 557	4 515	3 060	2 951
45歳以上	960	1 116	1 272	1 308	156	156	36
第1子	484 710	481 418	474 196	478 071	△ 3 292	△ 7 222	3 875
19歳以下	11 417	11 660	11 618	10 546	243	△ 42	△ 1 072
20～24	63 625	61 033	58 556	56 999	△ 2 592	△ 2 477	△ 1 557
25～29	163 841	158 323	152 493	153 003	△ 5 518	△ 5 830	510
30～34	153 147	152 245	151 727	155 198	△ 902	△ 518	3 471
35～39	76 849	80 051	80 142	81 254	3 202	91	1 112
40～44	15 413	17 609	19 084	20 448	2 196	1 475	1 364
45歳以上	413	496	575	622	83	79	47
第2子	382 461	379 466	364 763	363 219	△ 2 995	△ 14 703	△ 1 544
19歳以下	1 292	1 240	1 317	1 315	△ 52	77	△ 2
20～24	26 981	25 300	23 244	22 814	△ 1 681	△ 2 056	△ 430
25～29	96 211	92 517	85 469	81 230	△ 3 694	△ 7 048	△ 4 239
30～34	149 088	148 301	143 580	144 596	△ 787	△ 4 721	1 016
35～39	93 047	94 263	92 201	93 249	1 216	△ 2 062	1 048
40～44	15 568	17 534	18 602	19 660	1 966	1 068	1 058
45歳以上	274	311	350	354	37	39	4
第3子以上	170 060	168 932	164 580	164 366	△ 1 128	△ 4 352	△ 214
19歳以下	61	64	76	66	3	12	△ 10
20～24	5 199	4 917	4 790	4 646	△ 282	△ 127	△ 144
25～29	32 412	31 954	29 885	28 018	△ 458	△ 2 069	△ 1 867
30～34	65 480	64 858	64 016	65 069	△ 622	△ 842	1 053
35～39	55 584	55 427	53 546	53 786	△ 157	△ 1 881	240
40～44	11 050	11 403	11 920	12 449	353	517	529
45歳以上	273	309	347	332	36	38	△ 15

注：総数には母の年齢不詳を含む。

表3 第1子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和50年	60	平成7年	17	24	25	26	27
平均年齢 (歳)	25.7	26.7	27.5	29.1	30.3	30.4	30.6	30.7

(2) 合計特殊出生率

平成27年の合計特殊出生率は1.46で、前年の1.42より上昇している。

年次推移をみると、平成18年から上昇傾向が続いていたが、平成26年には低下し、平成27年は再び上昇している。

年齢（5歳階級）別にみると、24歳以下の各階級では低下し、25歳以上の各階級では上昇しており、最も合計特殊出生率が高いのは、30～34歳となっている。（表4-1、図2）

出生順位別にみると、いずれも前年から上昇している（表4-2）。

都道府県別にみると、沖縄県（1.94）、島根県（1.80）、宮崎県（1.72）、鳥取県（1.69）、熊本県（1.68）が高く、東京都（1.17）、京都府（1.26）、北海道（1.29）、宮城県（1.31）、埼玉県（1.34）、神奈川県（1.34）、大阪府（1.34）が低くなっている（表5、図3）。

表4-1 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

年 齢	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	24	25	26	27	25年-24年	26年-25年	27年-26年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.41	1.43	1.42	1.46	0.02	△ 0.01	0.04
15～19 歳	0.0229	0.0185	0.0253	0.0219	0.0221	0.0224	0.0207	0.0002	0.0003	△ 0.0017
20～24	0.3173	0.2022	0.1823	0.1607	0.1555	0.1487	0.1449	△ 0.0052	△ 0.0068	△ 0.0038
25～29	0.8897	0.5880	0.4228	0.4325	0.4298	0.4204	0.4237	△ 0.0027	△ 0.0094	0.0033
30～34	0.4397	0.4677	0.4285	0.4916	0.5016	0.5033	0.5215	0.0100	0.0017	0.0182
35～39	0.0846	0.1311	0.1761	0.2525	0.2677	0.2747	0.2878	0.0152	0.0070	0.0131
40～44	0.0094	0.0148	0.0242	0.0448	0.0486	0.0516	0.0558	0.0038	0.0030	0.0042
45～49	0.0003	0.0004	0.0008	0.0012	0.0013	0.0014	0.0015	0.0001	0.0001	0.0001

注：年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

表4-2 出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移

出生順位	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	24	25	26	27	25年-24年	26年-25年	27年-26年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.41	1.43	1.42	1.46	0.02	△ 0.01	0.04
第 1 子	0.7611	0.6607	0.6240	0.6781	0.6871	0.6914	0.7109	0.0090	0.0043	0.0195
第 2 子	0.6950	0.5209	0.4643	0.5095	0.5174	0.5088	0.5177	0.0079	△ 0.0086	0.0089
第3子以上	0.3078	0.2410	0.1717	0.2176	0.2221	0.2222	0.2272	0.0045	0.0001	0.0050

図2 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

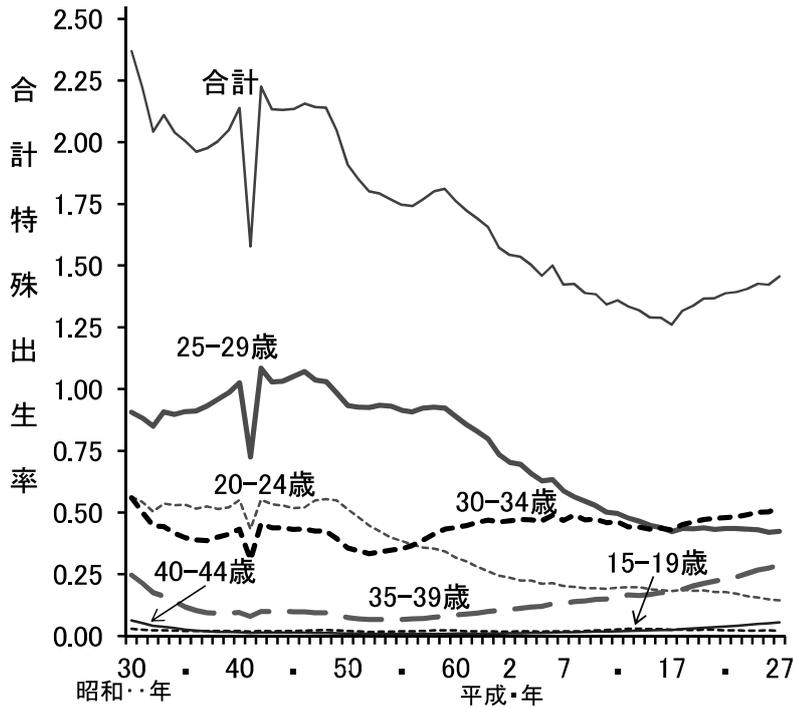
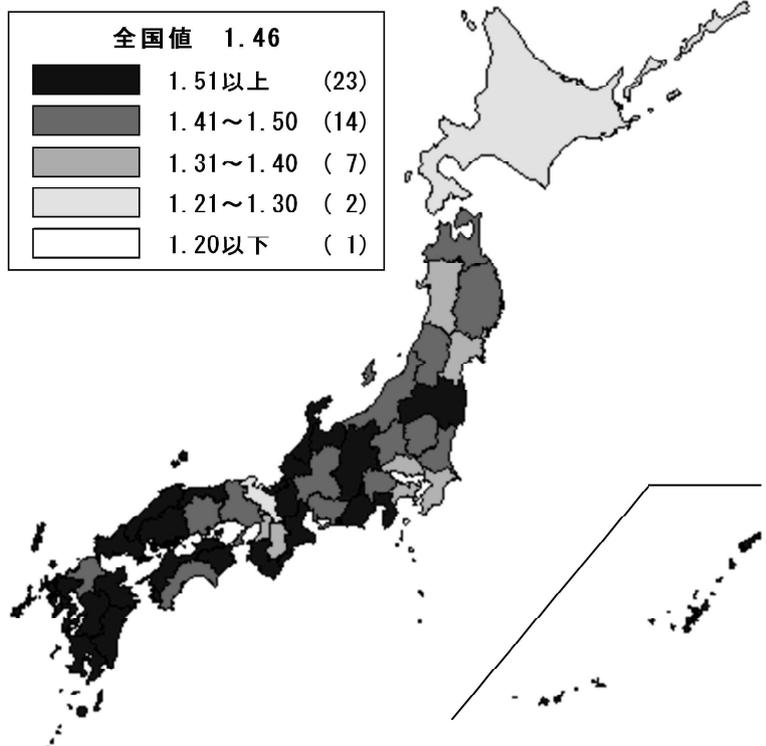


表5 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成27年	平成26年
全 国	1.46	1.42
北 海 道	1.29	1.27
青 森 県	1.43	1.42
岩 手 県	1.50	1.44
宮 城 県	1.31	1.30
秋 田 県	1.38	1.34
山 形 県	1.50	1.47
福 島 県	1.60	1.58
茨 城 県	1.46	1.43
栃 木 県	1.48	1.46
群 馬 県	1.47	1.44
埼 千 葉 京 奈	1.34	1.31
東 神 奈 川	1.35	1.32
新 潟 県	1.17	1.15
富 山 県	1.34	1.31
石 川 県	1.47	1.43
福 山 県	1.51	1.45
山 梨 県	1.51	1.45
山 梨 県	1.63	1.55
山 梨 県	1.46	1.43
山 梨 県	1.58	1.54
岐 静 愛 三 滋	1.49	1.42
静 岡 県	1.54	1.50
愛 知 県	1.49	1.46
重 慶 県	1.51	1.45
滋 賀 県	1.57	1.53
京 大 兵 奈 和 歌	1.26	1.24
都 府 県	1.34	1.31
阪 庫 良 山	1.43	1.41
和 歌 山 県	1.35	1.27
和 歌 山 県	1.58	1.55
鳥 島 岡 広 山	1.69	1.60
島 根 山 島 口	1.80	1.66
山 口 県	1.49	1.49
山 口 県	1.57	1.55
山 口 県	1.61	1.54
徳 香 愛 高 福	1.55	1.46
香 川 媛 知 岡	1.64	1.57
媛 知 岡 県	1.51	1.50
高 知 県	1.50	1.45
福 岡 県	1.48	1.46
佐 長 熊 大 宮	1.67	1.63
長 崎 本 分 崎	1.67	1.66
本 崎 分 崎 崎	1.68	1.64
分 崎 崎 崎	1.60	1.57
崎 崎 崎 崎	1.72	1.69
鹿 児 島 沖 縄	1.65	1.62
島 縄 県	1.94	1.86

図3 都道府県別合計特殊出生率（平成27年）



注：分母に用いた人口は、平成27年全国は、総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健社会統計課で推計した各歳別日本人口、都道府県は5歳階級別総人口。平成26年全国は、「人口推計（平成26年10月1日現在）」（総務省統計局）各歳別日本人口、都道府県は5歳階級別総人口。

3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成27年の死亡数は129万428人で、前年の127万3004人より1万7424人増加し、死亡率（人口千対）は10.3で、前年の10.1より上昇している。

死亡数の年次推移をみると、昭和50年代後半から増加傾向となり、平成15年に100万人を超え、平成23年以降は120万人台となっている。

75歳以上の高齢者の死亡数は、昭和50年代後半から増加しており、平成24年からは全死亡数の7割を超えている。

死亡率（人口10万対）を年齢（5歳階級）別にみると、15～19歳、70～74歳及び100歳以上の各年齢階級で前年より増加している。（図4、表6-1）

死亡率性比（男の死亡率／女の死亡率×100）を年齢（5歳階級）別にみると、全年齢階級で100以上となっており、15～29歳と55～79歳の各年齢階級では、男の死亡率が女の死亡率の2倍以上となっている（表6-2）。

図4 死亡数及び死亡率の年次推移

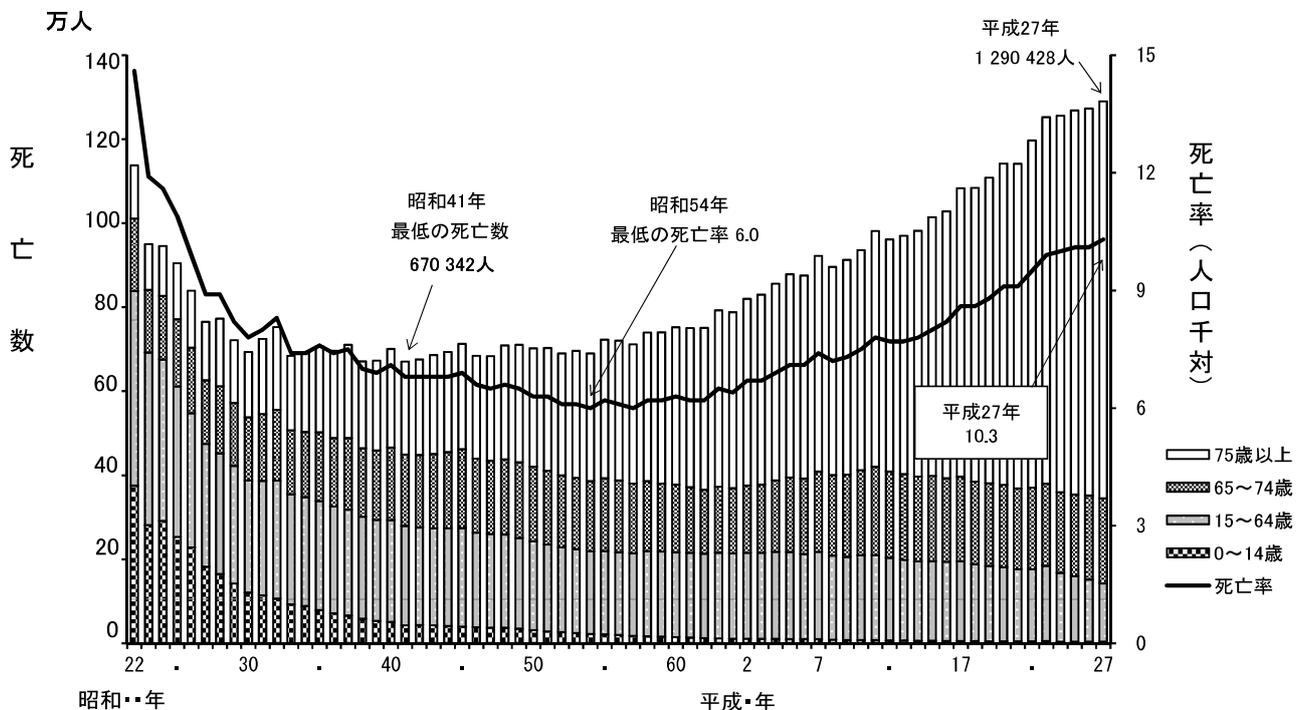


表6-1 年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

年齢階級	死亡数（人）			死亡率		
	平成27年	平成26年	対前年増減	平成27年	平成26年	対前年増減
総数	1 290 428	1 273 004	17 424	1 029.4	1 014.9	14.5
0～4歳	2 692	2 883	△ 191	52.4	55.9	△ 3.5
5～9	452	460	△ 8	8.6	8.7	△ 0.1
10～14	470	501	△ 31	8.5	8.8	△ 0.3
15～19	1 220	1 205	15	20.7	20.3	0.4
20～24	2 101	2 320	△ 219	35.0	38.7	△ 3.7
25～29	2 615	2 873	△ 258	41.6	44.5	△ 2.9
30～34	3 548	3 896	△ 348	49.7	53.5	△ 3.8
35～39	5 403	5 879	△ 476	65.9	69.1	△ 3.2
40～44	9 769	10 065	△ 296	101.1	104.4	△ 3.3
45～49	13 540	13 726	△ 186	157.3	161.9	△ 4.6
50～54	19 717	19 841	△ 124	249.7	258.1	△ 8.4
55～59	28 736	30 315	△ 1 579	383.5	399.9	△ 16.4
60～64	52 215	57 310	△ 5 095	618.2	642.5	△ 24.3
65～69	88 280	85 193	3 087	912.1	935.5	△ 23.4
70～74	114 307	114 866	△ 559	1 474.5	1 455.3	19.2
75～79	153 461	156 782	△ 3 321	2 420.9	2 510.9	△ 90.0
80～84	222 451	221 045	1 406	4 441.9	4 552.9	△ 111.0
85～89	256 250	249 725	6 525	8 091.3	8 177.0	△ 85.7
90～94	197 170	186 121	11 049	14 225.8	14 295.0	△ 69.2
95～99	90 727	84 117	6 610	23 323.1	23 965.0	△ 641.9
100歳以上	24 825	23 411	1 414	40 040.3	39 018.3	1 022.0

注：総数には年齢不詳を含む。

表6-2 性・年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率
（人口10万対）・死亡率性比（平成27年）

年齢階級	死亡数（人）		死亡率		死亡率性比
	男	女	男	女	
総数	666 704	623 724	1 092.8	969.2	112.8
0～4歳	1 473	1 219	55.9	48.7	114.8
5～9	253	199	9.4	7.8	120.5
10～14	267	203	9.4	7.5	125.3
15～19	836	384	27.7	13.4	206.7
20～24	1 515	586	49.1	20.1	244.3
25～29	1 785	830	55.4	27.0	205.2
30～34	2 324	1 224	64.0	34.9	183.4
35～39	3 456	1 947	82.9	48.3	171.6
40～44	6 213	3 556	126.6	74.8	169.3
45～49	8 657	4 883	198.9	114.7	173.4
50～54	12 837	6 880	323.7	175.2	184.8
55～59	19 462	9 274	521.9	246.4	211.8
60～64	36 139	16 076	870.6	374.2	232.7
65～69	61 419	26 861	1 314.1	536.6	244.9
70～74	76 904	37 403	2 133.3	901.9	236.5
75～79	96 965	56 496	3 447.0	1 602.3	215.1
80～84	126 757	95 694	6 296.9	3 196.2	197.0
85～89	120 810	135 440	11 206.9	6 483.5	172.9
90～94	64 596	132 574	18 832.7	12 710.8	148.2
95～99	19 915	70 812	28 862.3	22 128.8	130.4
100歳以上	3 743	21 082	46 787.5	39 040.7	119.8

注：1）総数には年齢不詳を含む。

2）死亡率性比＝男の死亡率／女の死亡率×100

(2) 死因

① 死因順位

平成 27 年の死亡数を死因順位別にみると、第 1 位は悪性新生物で 37 万 131 人（死亡率（人口 10 万対）は 295.2）、第 2 位は心疾患 19 万 5933 人（同 156.3）、第 3 位は肺炎 12 万 846 人（同 96.4）、第 4 位は脳血管疾患で、11 万 1875 人（同 89.2）となっている（表 7）。

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物は一貫して増加しており、昭和 56 年以降死因順位第 1 位となっている。平成 27 年の全死亡者に占める割合は 28.7%であり、全死亡者のおよそ 3.5 人に 1 人は悪性新生物で死亡している。

心疾患は、昭和 60 年に脳血管疾患にかわり第 2 位となり、その後も死亡数・死亡率ともに増加傾向が続き、平成 27 年は全死亡者に占める割合は 15.2%となっている。

肺炎は昭和 55 年に不慮の事故にかわって第 4 位となり、その後も増加傾向が続き、平成 23 年には脳血管疾患にかわり第 3 位となり、平成 27 年の全死亡者に占める割合は 9.4%となっている。

脳血管疾患は、昭和 45 年をピークに減少しはじめ、昭和 56 年には悪性新生物にかわり第 2 位となり、その後も死亡数・死亡率とも減少傾向が続き、昭和 60 年には心疾患にかわって第 3 位、平成 23 年には肺炎にかわり第 4 位となり、平成 27 年の全死亡者に占める割合は 8.7%となっている。（図 5、図 6）

図 5 主な死因別死亡数の割合（平成 27 年）

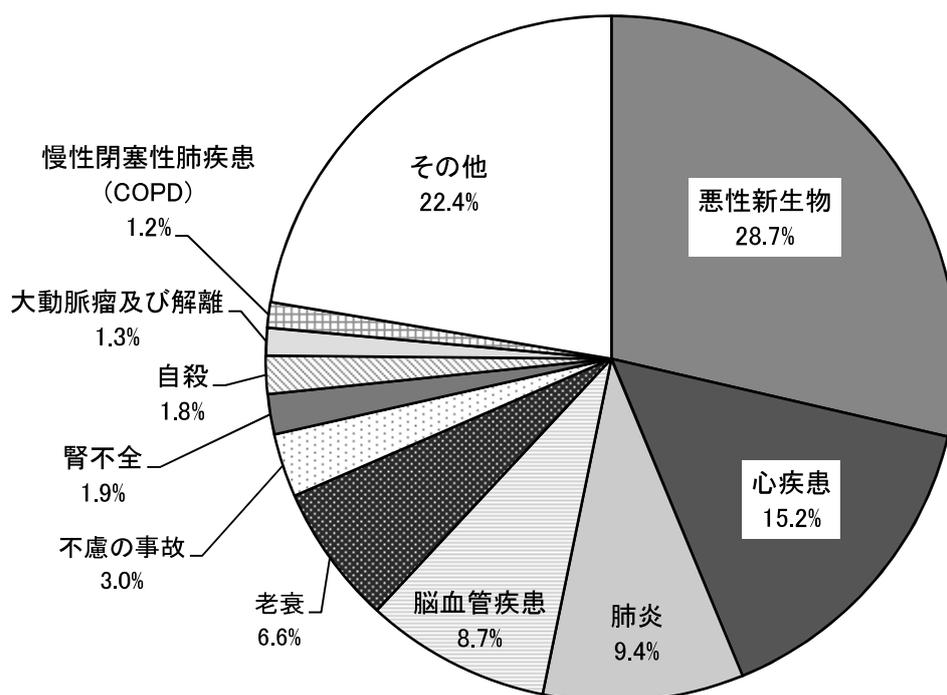
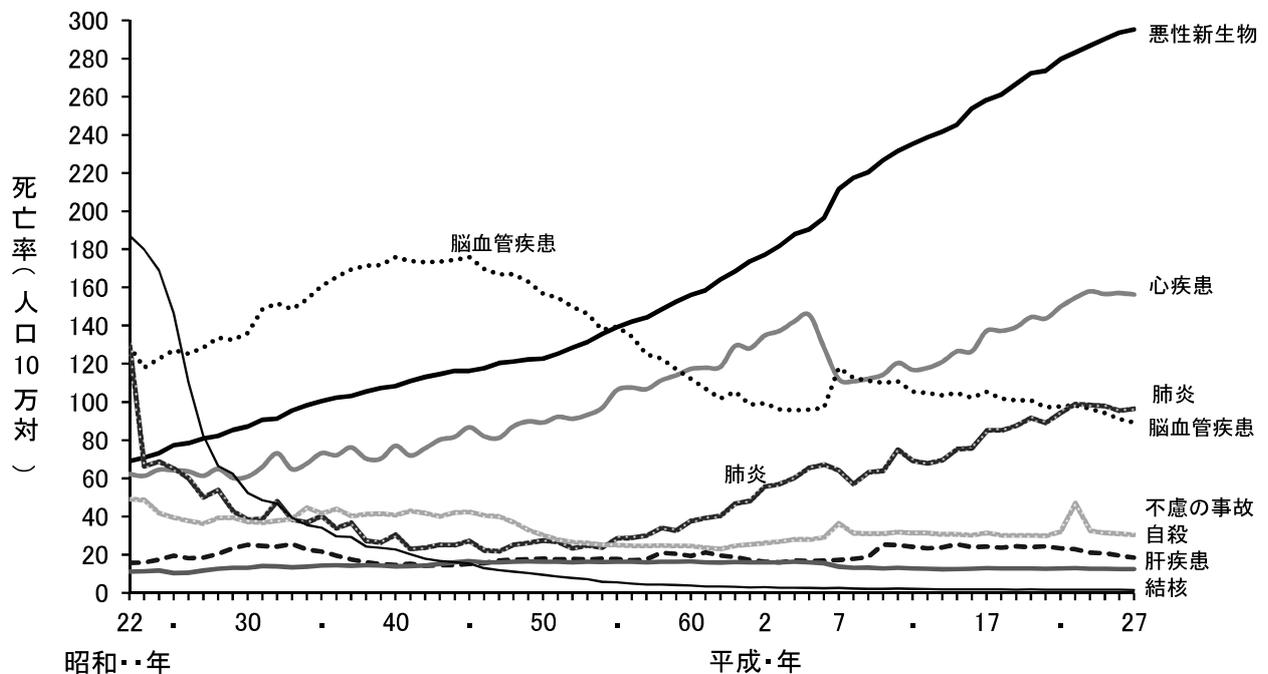


表7 性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口10万対）

死 因	平成27年						平成26年	
	総 数		男		女		総 数	
	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率
全 死 因	1 290 428	1029.4	666 704	1092.8	623 724	969.2	1 273 004	1014.9
悪 性 新 生 物	(1) 370 131	295.2	(1) 219 390	359.6	(1) 150 741	234.2	(1) 368 103	293.5
心 疾 患	(2) 195 933	156.3	(2) 92 034	150.9	(2) 103 899	161.4	(2) 196 925	157.0
肺 炎	(3) 120 846	96.4	(3) 65 552	107.4	(5) 55 294	85.9	(3) 119 650	95.4
脳 血 管 疾 患	(4) 111 875	89.2	(4) 53 519	87.7	(4) 58 356	90.7	(4) 114 207	91.1
老 衰	(5) 84 755	67.6	(6) 20 879	34.2	(3) 63 876	99.3	(5) 75 389	60.1
不慮の事故	(6) 38 195	30.5	(5) 22 098	36.2	(6) 16 097	25.0	(6) 39 029	31.1
腎 不 全	(7) 24 532	19.6	(9) 11 888	19.5	(7) 12 644	19.6	(7) 24 776	19.8
自 殺	(8) 23 121	18.4	(7) 16 183	26.5	(11) 6 938	10.8	(8) 24 417	19.5
大動脈瘤及び解離	(9) 16 865	13.5	(11) 8 602	14.1	(8) 8 263	12.8	(9) 16 423	13.1
慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	(10) 15 749	12.6	(8) 12 647	20.7	(20) 3 102	4.8	(10) 16 184	12.9

- 注：1) () 内の数字は死因順位を示す。
 2) 男の10位は「肝疾患」で死亡数は9 992、死亡率は16.4である。
 3) 女の9位は「血管性及び詳細不明の認知症」で死亡数は7 955、死亡率は12.4である。
 4) 女の10位は「アルツハイマー病」で死亡数は7 226、死亡率は11.2である。
 5) 「結核」は死亡数が1 955、死亡率は1.6で第29位となっている。
 6) 「熱中症」は死亡数が967、死亡率は0.8である。

図6 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



- 注：1) 平成6・7年の心疾患の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。
 2) 平成7年の脳血管疾患の上昇の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルール明確化によるものと考えられる。

② 年齢別死因

性・年齢（5歳階級）別に主な死因の構成割合をみると、5～9歳では悪性新生物及び不慮の事故、10～14歳では悪性新生物及び自殺、15～29歳では自殺及び不慮の事故、30～49歳では悪性新生物及び自殺がそれぞれ多くなっている。年齢が高くなるにしたがって、悪性新生物の占める割合が高くなり、男では65～69歳、女では55～59歳がピークとなっている。（図7-1）

1歳未満の乳児死亡数は11年連続で3000人を下回り、死因別構成割合では、男女とも「先天奇形、変形及び染色体異常」の占める割合が多くなっている（図7-2）。

図7-1 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成27年）

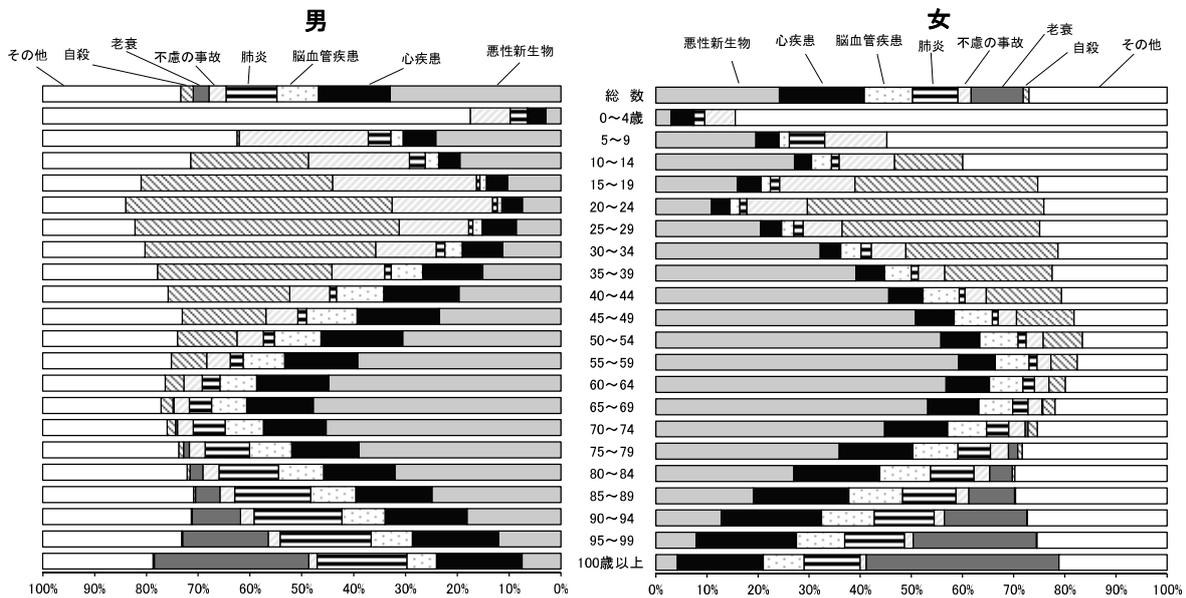
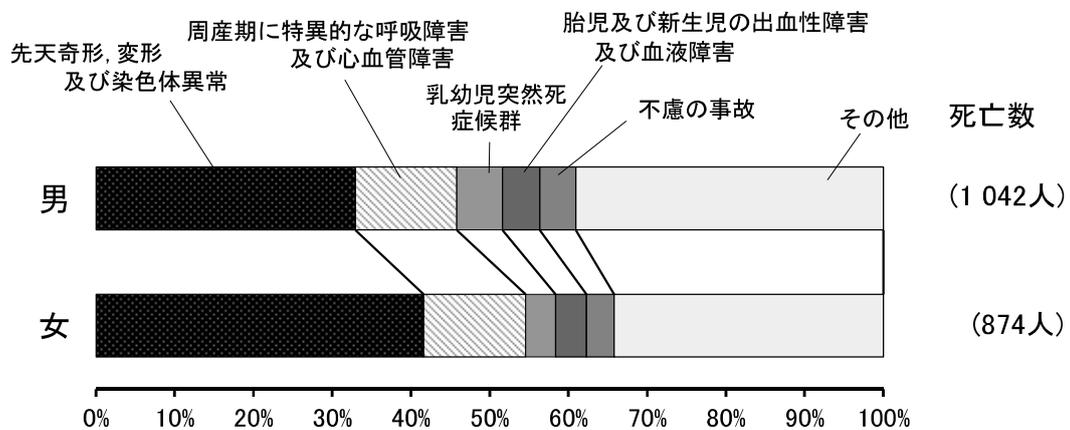


図7-2 乳児死亡の主な死因の構成割合（平成27年）



③ 部位別にみた悪性新生物

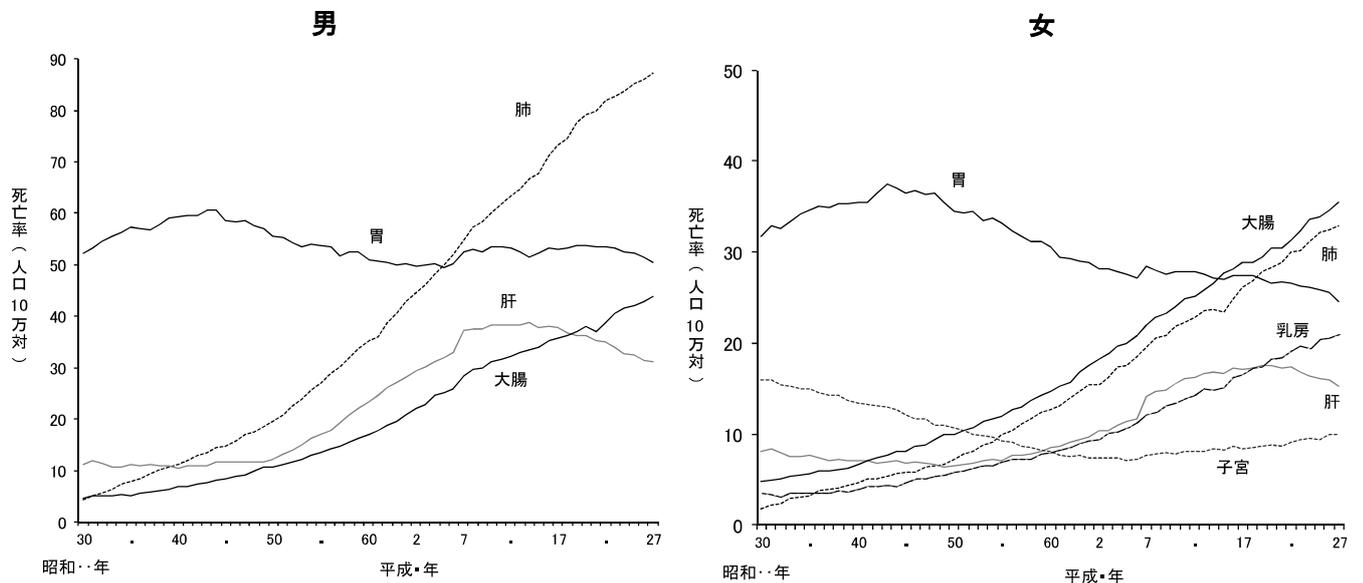
悪性新生物の主な部位別に死亡率（人口10万対）をみると、男では「肺」がもっとも高く、平成5年以降第1位となり、平成27年の死亡数は5万3170人、死亡率は87.2となっている。女では「大腸」と「肺」が高く、「大腸」は平成15年以降第1位となり、平成27年の死亡数は2万2867人、死亡率は35.5となっている。（表8、図8）

表8 悪性新生物の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

部位	昭和40年	50	60	平成7年	17	24	25	26	27
死 亡 数 （人）									
男									
胃	28 636	30 403	30 146	32 015	32 643	32 206	31 978	31 483	30 797
肝	5 006	6 677	13 780	22 773	23 203	20 060	19 816	19 208	19 001
肺	5 404	10 711	20 837	33 389	45 189	51 372	52 054	52 505	53 170
大腸	3 265	5 799	10 112	17 312	22 146	25 529	25 808	26 177	26 798
女									
胃	17 749	19 454	18 756	18 061	17 668	16 923	16 654	16 420	15 862
肝	3 499	3 696	5 192	8 934	11 065	10 630	10 359	10 335	9 875
肺	2 321	4 048	7 753	12 356	16 874	20 146	20 680	20 891	21 164
乳房	1 966	3 262	4 922	7 763	10 721	12 529	13 148	13 240	13 574
子宮	6 689	6 075	4 912	4 865	5 381	6 113	6 033	6 429	6 427
大腸	3 335	5 654	8 926	13 962	18 684	21 747	21 846	22 308	22 867
死 亡 率 （人 口 10 万 対）									
男									
胃	59.4	55.6	51.1	52.6	53.0	52.5	52.3	51.6	50.5
肝	10.4	12.2	23.3	37.4	37.7	32.7	32.4	31.5	31.1
肺	11.2	19.6	35.3	54.8	73.3	83.8	85.1	86.0	87.2
大腸	6.8	10.6	17.1	28.4	35.9	41.6	42.2	42.9	43.9
女									
胃	35.5	34.4	30.6	28.5	27.4	26.2	25.8	25.5	24.6
肝	7.0	6.5	8.5	14.1	17.1	16.4	16.1	16.1	15.3
肺	4.6	7.2	12.7	19.5	26.1	31.2	32.1	32.4	32.9
乳房	3.9	5.8	8.0	12.2	16.6	19.4	20.4	20.6	21.1
子宮	13.4	10.7	8.0	7.7	8.3	9.5	9.4	10.0	10.0
大腸	6.7	10.0	14.6	22.0	28.9	33.6	33.9	34.6	35.5

注：大腸の悪性新生物は、結腸の悪性新生物と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物を示す。

図8 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口10万対）の年次推移



4 婚姻

平成 27 年の婚姻件数は 63 万 5096 組で、前年の 64 万 3749 組より 8653 組減少し、婚姻率(人口千対)は 5.1 で、前年と同率となっている。

婚姻件数の年次推移をみると、昭和 47 年の 109 万 9984 組をピークに、昭和 50 年代以降は増加と減少を繰り返しながら推移し、平成 25 年から 3 年連続減少している。(図 9)

初婚の妻の年齢(各歳)別に婚姻件数の構成割合を 10 年ごとに比較すると、ピーク時の年齢が上昇するとともに、その年齢の占める割合が低下し、高い年齢の割合が上昇している(図 10)。

年齢(5 歳階級)別に妻の初婚率(女性人口千対)をみると、前年に比べ 20~34 歳の各年齢階級で低下しているが、35~39 歳では上昇している(表 9)。

平成 27 年の平均初婚年齢は、夫 31.1 歳、妻 29.4 歳で、夫妻ともに前年と同年齢となっている(表 10-1)。

これを都道府県別にみると、平均初婚年齢が最も低いのは、夫が宮崎県の 29.9 歳、妻が福島県及び山口県の 28.6 歳であり、最も高いのは夫妻とも東京都で、夫 32.4 歳、妻 30.5 歳となっている(表 10-2)。

再婚件数の割合をみると、夫 19.7%、妻 16.8%で、前年より夫は 0.4 ポイント、妻は 0.2 ポイント上昇している(表 11)。

図 9 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

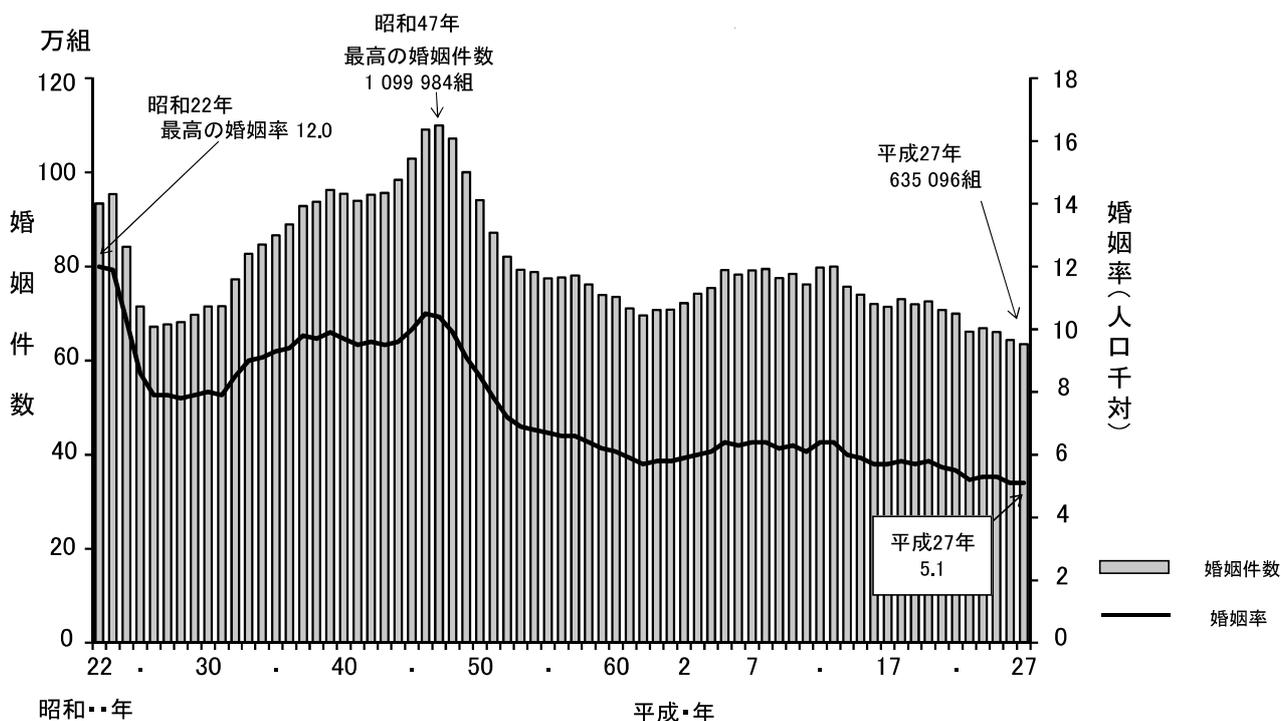
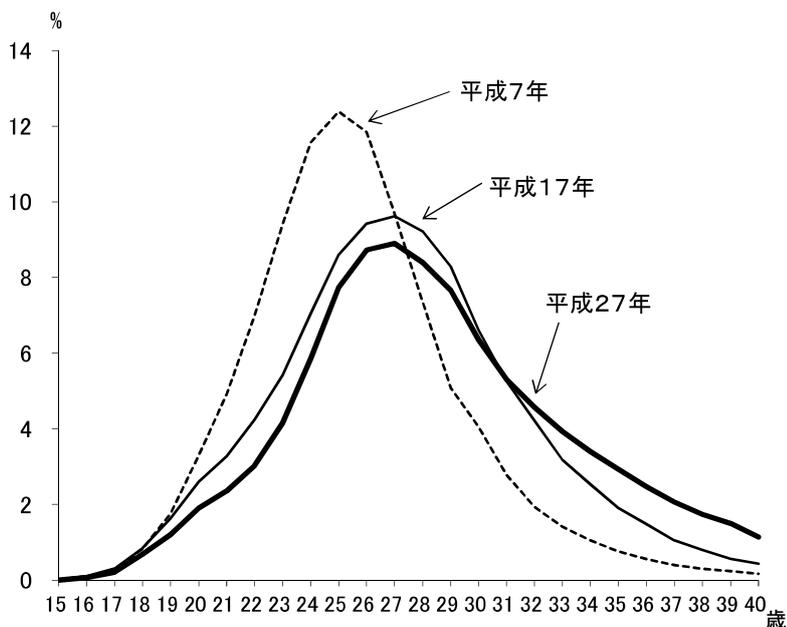


図10 初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の構成割合



注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表9 年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）の年次推移

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
平成 7 年	48.89	70.64	18.45	3.84
17	34.12	60.06	24.41	7.24
23	29.48	58.04	27.80	9.68
24	28.70	59.27	29.15	10.50
25	27.86	59.41	29.76	11.04
26	26.49	58.56	29.31	11.25
27	25.66	58.31	29.06	11.49

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表11 全婚姻件数に対する再婚件数の割合の年次推移

	夫	妻
	%	%
平成 7 年	13.2	11.6
17	18.2	16.0
23	18.8	16.4
24	19.0	16.4
25	19.2	16.5
26	19.3	16.6
27	19.7	16.8

表10-1 平均初婚年齢の年次推移

	夫	妻
	歳	歳
平成 7 年	28.5	26.3
17	29.8	28.0
23	30.7	29.0
24	30.8	29.2
25	30.9	29.3
26	31.1	29.4
27	31.1	29.4

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表10-2 都道府県別にみた平均初婚年齢（平成27年）

都道府県	夫	妻
	歳	歳
北海道	30.7	29.3
青森	30.6	28.9
岩手	30.9	29.0
宮城	30.8	29.3
秋田	30.8	29.3
山形	30.6	28.8
福島	30.3	28.6
茨城	30.8	29.1
栃木	30.9	29.1
群馬	31.0	29.2
埼玉	31.5	29.6
千葉	31.5	29.6
東京	32.4	30.5
神奈川	31.9	30.1
新潟	30.8	29.3
富山	30.8	29.1
石川	30.7	29.1
福井	30.6	28.9
山梨	31.3	29.3
長野	31.3	29.5
岐阜	30.6	28.7
静岡	31.0	29.2
愛知	30.8	29.0
三重	30.7	28.9
滋賀	30.7	29.1
京都	31.3	29.7
大阪	31.1	29.6
兵庫	30.8	29.3
奈良	31.0	29.4
和歌山	30.2	28.7
鳥取	30.8	29.0
島根	30.4	29.1
岡山	30.2	28.8
広島	30.3	28.9
山口	30.1	28.6
徳島	30.6	29.0
香川	30.2	28.9
愛媛	30.2	28.7
高知	31.3	29.7
福岡	30.7	29.4
佐賀	30.2	28.9
長崎	30.3	29.1
熊本	30.3	29.0
大分	30.3	29.0
宮崎	29.9	28.7
鹿児島	30.4	29.0
沖縄	30.3	29.0

注：平成27年に結婚生活に入ったもの。

5 離婚

平成27年の離婚件数は22万6198組で、前年の22万2107組より4091組増加し、離婚率（人口千対）は1.80で、前年の1.77より上昇している。

離婚件数の年次推移をみると、昭和39年以降毎年増加を続けたが、昭和59年から減少している。平成に入ってから再び増加傾向にあったが、平成14年の28万9836組をピークに減少傾向が続いている。（図11）

同居期間別に離婚件数をみると、平成27年はすべての同居期間で前年より増加している（表12、図12）。

図11 離婚件数及び離婚率の年次推移

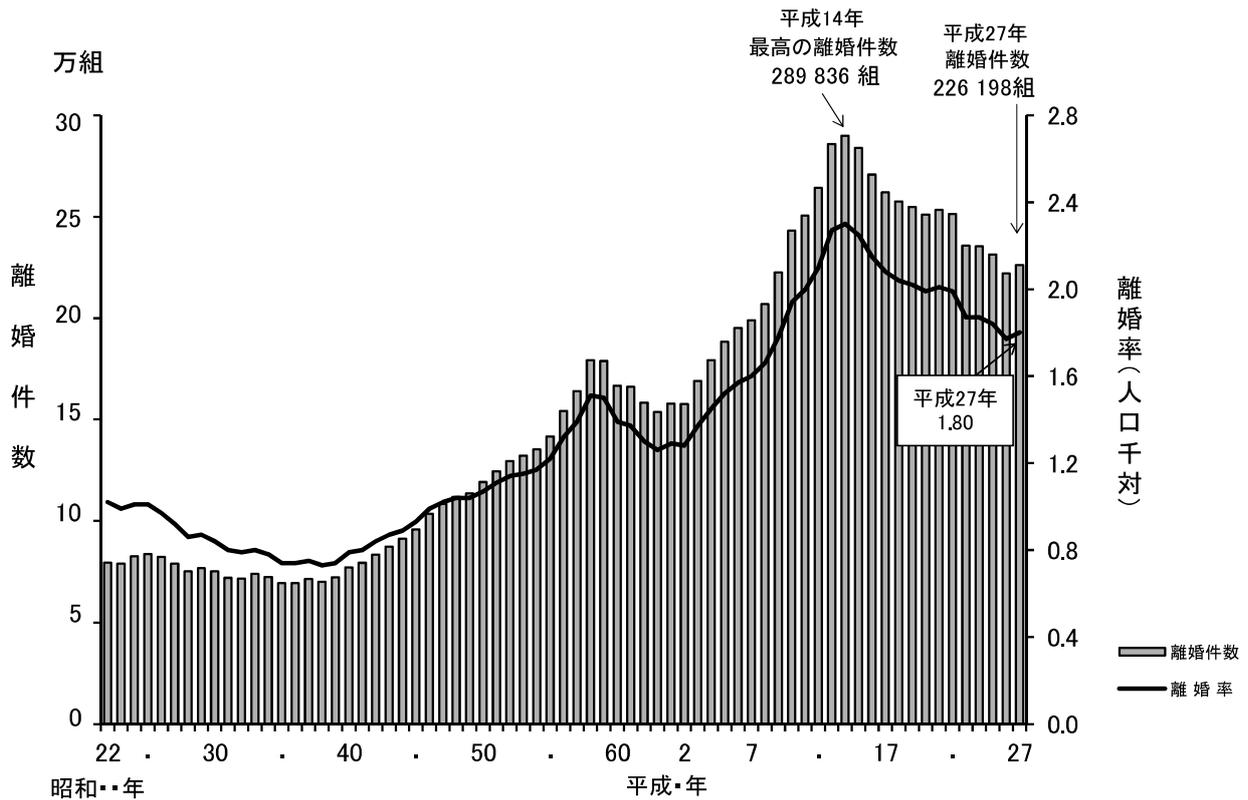
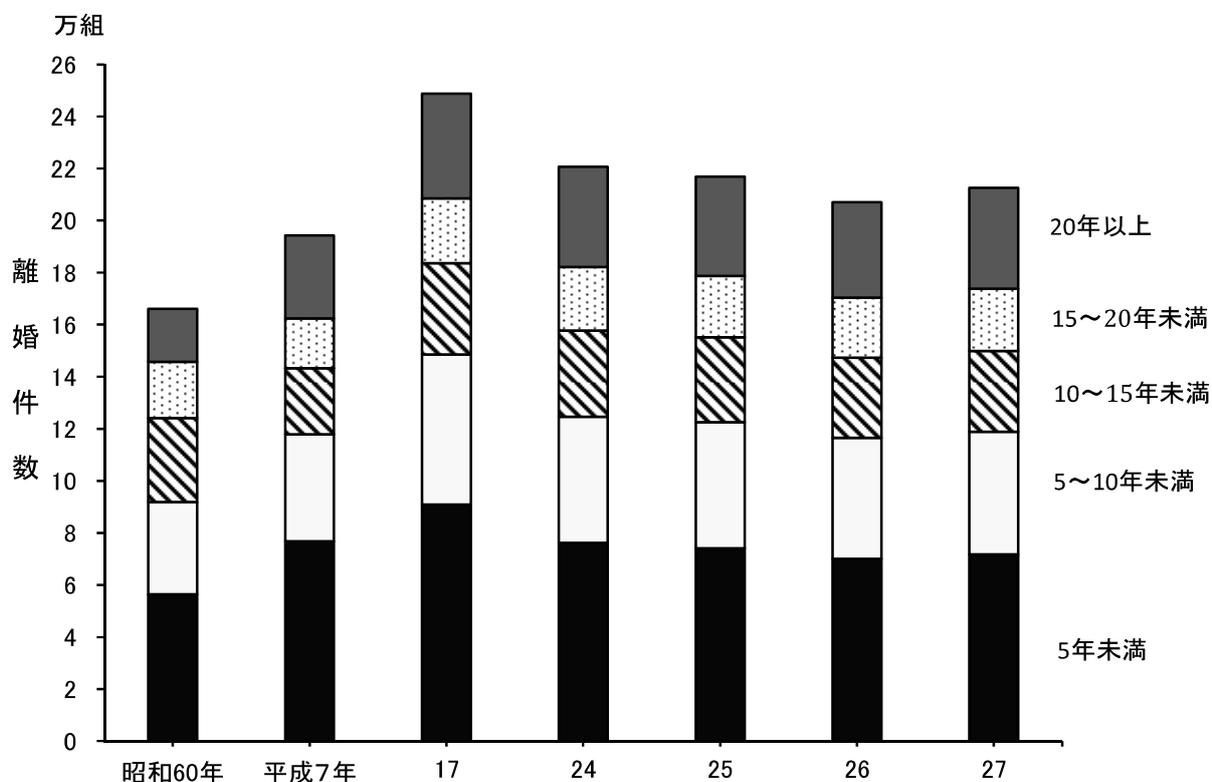


表 12 同居期間別離婚件数の年次推移

同居期間	昭和60年	平成7年	17	24	25	26	27	対前年(27年-26年)	
	組	組	組	組	組	組	組	増減数	増減率
総数	166 640	199 016	261 917	235 406	231 383	222 107	226 198	4 091	1.8
5年未満	56 442	76 710	90 885	76 128	74 034	70 056	71 717	1 661	2.4
1年未満	12 656	14 893	16 558	14 459	14 333	13 499	13 862	363	2.7
1～2	12 817	18 081	20 159	16 810	16 374	15 779	16 270	491	3.1
2～3	11 710	16 591	19 435	16 010	15 423	14 910	15 350	440	3.0
3～4	10 434	14 576	18 144	14 961	14 533	13 489	13 808	319	2.4
4～5	8 825	12 569	16 589	13 888	13 371	12 379	12 427	48	0.4
5～10年未満	35 338	41 185	57 562	48 437	48 422	46 389	47 077	688	1.5
10～15年未満	32 310	25 308	35 093	33 047	32 554	30 839	31 106	267	0.9
15～20年未満	21 528	19 153	24 885	24 463	23 660	22 905	23 937	1 032	4.5
20年以上	20 434	31 877	40 395	38 557	38 032	36 771	38 641	1 870	5.1
20～25年未満	12 706	17 847	18 401	17 324	17 045	16 535	17 049	514	3.1
25～30	4 827	8 684	10 747	10 149	9 678	9 382	10 011	629	6.7
30～35	1 793	3 506	6 453	5 163	5 203	5 034	5 315	281	5.6
35年以上	1 108	1 840	4 794	5 921	6 106	5 820	6 266	446	7.7

注：総数には同居期間不詳を含む。

図 12 同居期間別離婚件数の年次推移



統計表

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-1)

年次		出生数	死亡数	(再掲)		自然増減数
				乳児死亡数	新生児死亡数	
1899	明治 32 年	1 386 981	932 087	213 359	108 077	454 894
1900	33	1 420 534	910 744	220 211	112 259	509 790
1901	34	1 501 591	925 810	225 107	115 794	575 781
1902	35	1 510 835	959 126	232 652	116 654	551 709
1903	36	1 489 816	931 008	226 982	112 909	558 808
1904	37	1 440 371	955 400	218 756	106 477	484 971
1905	38	1 452 770	1 004 661	220 450	103 382	448 109
1906	39	1 394 295	955 256	214 148	105 307	439 039
1907	40	1 614 472	1 016 798	244 300	118 617	597 674
1908	41	1 662 815	1 029 447	262 801	123 867	633 368
1909	42	1 693 850	1 091 264	283 436	129 629	602 586
1910	43	1 712 857	1 064 234	276 136	126 910	648 623
1911	44	1 747 803	1 043 906	276 798	127 302	703 897
1912	大正 元年	1 737 674	1 037 016	268 025	123 902	700 658
1913	2	1 757 441	1 027 257	267 281	124 213	730 184
1914	3	1 808 402	1 101 815	286 678	125 745	706 587
1915	4	1 799 326	1 093 793	288 634	125 337	705 533
1916	5	1 804 822	1 187 832	307 283	132 000	616 990
1917	6	1 812 413	1 199 669	313 872	139 717	612 744
1918	7	1 791 992	1 493 162	337 919	145 710	298 830
1919	8	1 778 685	1 281 965	303 202	129 072	496 720
1920	9	2 025 564	1 422 096	335 613	139 681	603 468
1921	10	1 990 876	1 288 570	335 143	136 342	702 306
1922	11	1 969 314	1 286 941	327 604	132 856	682 373
1923	12	2 043 297	1 332 485	333 930	135 504	710 812
1924	13	1 998 520	1 254 946	312 267	126 385	743 574
1925	14	2 086 091	1 210 706	297 008	121 238	875 385
1926	昭和 元年	2 104 405	1 160 734	289 275	119 642	943 671
1927	2	2 060 737	1 214 323	292 084	116 240	846 414
1928	3	2 135 852	1 236 711	293 881	115 682	899 141
1929	4	2 077 026	1 261 228	295 178	115 009	815 798
1930	5	2 085 101	1 170 867	258 703	104 101	914 234
1931	6	2 102 784	1 240 891	276 584	108 812	861 893
1932	7	2 182 742	1 175 344	256 505	104 573	1 007 398
1933	8	2 121 253	1 193 987	257 251	102 887	927 266
1934	9	2 043 783	1 234 684	255 063	103 408	809 099
1935	10	2 190 704	1 161 936	233 706	97 994	1 028 768
1936	11	2 101 969	1 230 278	245 357	101 043	871 691
1937	12	2 180 734	1 207 899	230 701	95 465	972 835
1938	13	1 928 321	1 259 805	220 695	89 159	668 516
1939	14	1 901 573	1 268 760	202 018	84 204	632 813
1940	15	2 115 867	1 186 595	190 509	81 869	929 272
1941	16	2 277 283	1 149 559	191 420	77 829	1 127 724
1942	17	2 233 660	1 166 630	190 897	76 177	1 067 030
1943	18	2 253 535	1 213 811	195 219	76 588	1 039 724
1947	22	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
1948	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
1949	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
1951	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
1952	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
1953	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
1954	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089

注：*印は概数である。

(単位：人)

年 次		出 生 数	死 亡 数	(再 掲) 乳児死亡数	新生児死亡数	自然増減数
1955	昭和 30 年	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
1956	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
1957	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
1958	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
1959	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
1961	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
1962	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
1963	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
1964	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
1965	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
1966	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
1967	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
1968	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
1969	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
1971	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
1972	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
1973	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
1974	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
1975	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
1976	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
1977	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
1978	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
1979	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
1981	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
1982	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
1983	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
1984	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
1985	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
1986	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
1987	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
1988	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
1989	平成 元 年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
1991	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
1992	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
1993	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
1994	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
1995	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
1996	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
1997	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
1998	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
1999	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
2001	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
2002	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
2003	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
2004	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
2005	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
2006	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
2007	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
2008	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251
2009	21	1 070 035	1 141 865	2 556	1 254	△ 71 830
2010	22	1 071 304	1 197 012	2 450	1 167	△ 125 708
2011	23	1 050 806	1 253 066	2 463	1 147	△ 202 260
2012	24	1 037 231	1 256 359	2 299	1 065	△ 219 128
2013	25	1 029 816	1 268 436	2 185	1 026	△ 238 620
2014	26	1 003 539	1 273 004	2 080	952	△ 269 465
2015	* 27	1 005 656	1 290 428	1 916	902	△ 284 772

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-2)

年次		死産数			2) 周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数	(参考) 3) 周産期死亡数
		総数	自然死産	人工死産				
1899	明治 32年	135 727	297 372	66 545	...
1900	33	137 987	346 528	63 828	...
1901	34	155 489	378 457	63 442	...
1902	35	157 708	394 165	64 139	...
1903	36	153 920	370 961	65 392	...
1904	37	147 058	398 930	63 913	...
1905	38	142 092	350 898	60 061	...
1906	39	149 731	352 857	65 398	...
1907	40	158 814	432 949	61 058	...
1908	41	162 676	461 254	60 226	...
1909	42	161 576	437 882	58 936	...
1910	43	157 392	441 222	59 432	...
1911	44	155 319	433 117	58 067	...
1912	大正 元年	147 545	430 422	59 143	...
1913	2	147 769	431 287	59 536	...
1914	3	145 692	452 932	59 992	...
1915	4	141 301	445 210	59 943	...
1916	5	139 998	433 680	60 254	...
1917	6	140 328	447 970	55 812	...
1918	7	142 507	500 580	56 474	...
1919	8	132 939	480 136	56 812	...
1920	9	144 038	546 207	55 511	...
1921	10	138 301	519 217	53 402	...
1922	11	132 244	515 916	53 053	...
1923	12	133 863	512 689	51 212	...
1924	13	125 839	513 130	51 770	...
1925	14	124 403	521 438	51 687	...
1926	昭和 元年	124 038	502 847	50 119	...
1927	2	116 922	487 850	50 626	...
1928	3	120 191	499 555	49 119	...
1929	4	116 971	497 410	51 222	...
1930	5	117 730	506 674	51 259	...
1931	6	116 509	496 574	50 609	...
1932	7	119 579	515 270	51 437	...
1933	8	114 138	486 058	49 282	...
1934	9	113 043	512 654	48 610	...
1935	10	115 593	556 730	48 528	...
1936	11	111 056	549 116	46 167	...
1937	12	111 485	674 500	46 500	...
1938	13	99 528	538 831	44 656	...
1939	14	98 349	554 321	45 970	...
1940	15	102 034	666 575	48 556	...
1941	16	103 400	791 625	49 424	...
1942	17	95 448	679 044	46 268	...
1943	18	92 889	743 842	49 705	...
1947	22	123 837	934 170	79 551	...
1948	23	1) 143 963	* 104 325	* 31 055	...	953 999	79 032	...
1949	24	1) 192 677	* 114 161	* 75 585	...	842 170	82 575	...
1950	25	216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843
1951	26	217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865
1952	27	203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527
1953	28	193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932
1954	29	187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776

注： *印は概数である。

- 1) 昭和23年、24年の死産には自然・人工死産の不詳を含む。
- 2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
- 3) 妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

(単位：人、胎、組)

年次		死産数			2) 周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数	3) (参考) 周産期死亡数
		総数	自然死産	人工死産				
1955	昭和 30 年	183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267	75 918
1956	31	179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040	75 706
1957	32	176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651	70 502
1958	33	185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004	72 625
1959	34	181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455	69 912
1960	35	179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410	66 552
1961	36	179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323	65 063
1962	37	177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394	62 650
1963	38	175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996	60 049
1964	39	168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306	56 827
1965	40	161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195	54 904
1966	41	148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432	42 583
1967	42	149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478	50 846
1968	43	143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327	45 921
1969	44	139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280	43 419
1970	45	135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937	41 917
1971	46	130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595	40 900
1972	47	125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382	38 754
1973	48	116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877	37 598
1974	49	109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622	34 383
1975	50	101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135	30 513
1976	51	101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512	27 133
1977	52	95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485	24 708
1978	53	87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146	22 217
1979	54	82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481
1980	55	77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385
1981	56	79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531
1982	57	78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303
1983	58	71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035
1984	59	72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998
1985	60	69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470
1986	61	65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148
1987	62	63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317
1988	63	59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508
1989	平成 元年	55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450
1990	2	53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001
1991	3	50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544
1992	4	48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321
1993	5	45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989
1994	6	42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134
1995	7	39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526
1996	8	39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321
1997	9	39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974
1998	10	38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927
1999	11	38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665
2000	12	38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562
2001	13	37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238
2002	14	36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224
2003	15	35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995
2004	16	34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671
2005	17	31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492
2006	18	30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475	3 420
2007	19	29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832	3 306
2008	20	28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136	3 178
2009	21	27 005	12 214	14 791	4 519	707 734	253 353	3 096
2010	22	26 560	12 245	14 315	4 515	700 214	251 378	3 065
2011	23	25 751	11 940	13 811	4 315	661 895	235 719	2 961
2012	24	24 800	11 448	13 352	4 133	668 869	235 406	2 759
2013	25	24 102	10 938	13 164	3 862	660 613	231 383	2 649
2014	26	23 524	10 905	12 619	3 750	643 749	222 107	2 501
2015	* 27	22 621	10 858	11 763	3 729	635 096	226 198	2 496

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移 (2-1)

年次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)	(出生千対)	(人口千対)	(出産千対)		
1899	明治 32年	32.0	21.5	153.8	77.9	10.5	89.1
1900	33	32.4	20.8	155.0	79.0	11.6	88.5
1901	34	33.9	20.9	149.9	77.1	13.0	93.8
1902	35	33.6	21.3	154.0	77.2	12.3	94.5
1903	36	32.7	20.4	152.4	75.8	12.3	93.6
1904	37	31.2	20.7	151.9	73.9	10.5	92.6
1905	38	31.2	21.6	151.7	71.2	9.6	89.1
1906	39	29.6	20.3	153.6	75.5	9.3	97.0
1907	40	34.0	21.4	151.3	73.5	12.6	89.6
1908	41	34.7	21.5	158.0	74.5	13.2	89.1
1909	42	34.9	22.5	167.3	76.5	12.4	87.1
1910	43	34.8	21.6	161.2	74.1	13.2	84.2
1911	44	35.1	20.9	158.4	72.8	14.1	81.6
1912	大正 元年	34.4	20.5	154.2	71.3	13.9	78.3
1913	2	34.3	20.0	152.1	70.7	14.2	77.6
1914	3	34.8	21.2	158.5	69.5	13.6	74.6
1915	4	34.1	20.7	160.4	69.7	13.4	72.8
1916	5	33.7	22.2	170.3	73.1	11.5	72.0
1917	6	33.5	22.2	173.2	77.1	11.3	71.9
1918	7	32.7	27.3	188.6	81.3	5.5	73.7
1919	8	32.3	23.3	170.5	72.6	9.0	69.5
1920	9	36.2	25.4	165.7	69.0	10.8	66.4
1921	10	35.1	22.7	168.3	68.5	12.4	65.0
1922	11	34.3	22.4	166.4	67.5	11.9	62.9
1923	12	35.2	22.9	163.4	66.3	12.2	61.5
1924	13	33.9	21.3	156.2	63.2	12.6	59.2
1925	14	34.9	20.3	142.4	58.1	14.7	56.3
1926	昭和 元年	34.6	19.1	137.5	56.9	15.5	55.7
1927	2	33.4	19.7	141.7	56.4	13.7	53.7
1928	3	34.1	19.8	137.6	54.2	14.4	53.3
1929	4	32.7	19.9	142.1	55.4	12.9	53.3
1930	5	32.4	18.2	124.1	49.9	14.2	53.4
1931	6	32.1	19.0	131.5	51.7	13.2	52.5
1932	7	32.9	17.7	117.5	47.9	15.2	51.9
1933	8	31.5	17.7	121.3	48.5	13.8	51.1
1934	9	29.9	18.1	124.8	50.6	11.8	52.4
1935	10	31.6	16.8	106.7	44.7	14.9	50.1
1936	11	30.0	17.5	116.7	48.1	12.4	50.2
1937	12	30.9	17.1	105.8	43.8	13.8	48.6
1938	13	27.2	17.7	114.4	46.2	9.4	49.1
1939	14	26.6	17.8	106.2	44.3	8.9	49.2
1940	15	29.4	16.5	90.0	38.7	12.9	46.0
1941	16	31.8	16.0	84.1	34.2	15.7	43.4
1942	17	30.9	16.1	85.5	34.1	14.7	41.0
1943	18	30.9	16.7	86.6	33.8	14.3	39.6
1947	22	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2
1948	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	* 36.9	* 10.9
1949	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	* 39.1	* 25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
1951	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
1952	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
1953	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
1954	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1

注： *印は概数である。

1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

年 次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
		(人 口 千 対)		(出 生 千 対)		(人口千対)	(出 産 千 対)		
1955	昭和 30 年	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
1956	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
1957	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
1958	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
1959	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
1961	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
1962	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
1963	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
1964	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
1965	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
1966	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
1967	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
1968	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
1969	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
1971	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
1972	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
1973	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
1974	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
1975	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
1976	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
1977	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
1978	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
1979	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
1981	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
1982	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
1983	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
1984	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
1985	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
1986	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
1987	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
1988	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
1989	平成 元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
1991	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
1992	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
1993	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
1994	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
1995	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
1996	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
1997	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
1998	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
1999	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
2001	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
2002	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
2003	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
2004	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
2005	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
2006	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
2007	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
2008	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
2009	21	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6	24.6	11.1	13.5
2010	22	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0	24.2	11.2	13.0
2011	23	8.3	9.9	2.3	1.1	△ 1.6	23.9	11.1	12.8
2012	24	8.2	10.0	2.2	1.0	△ 1.7	23.4	10.8	12.6
2013	25	8.2	10.1	2.1	1.0	△ 1.9	22.9	10.4	12.5
2014	26	8.0	10.1	2.1	0.9	△ 2.1	22.9	10.6	12.3
2015	* 27	8.0	10.3	1.9	0.9	△ 2.3	22.0	10.6	11.4

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移（2-2）

年次	周産期死亡率 (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率	年齢調整死亡率 (人口千対)		(参考) 4) 周産期死亡率 (出生千対)	
					3)			
					男	女		
1899	明治 32年	...	6.9	1.53
1900	33	...	7.9	1.46
1901	34	...	8.5	1.43
1902	35	...	8.8	1.43
1903	36	...	8.1	1.44
1904	37	...	8.6	1.39
1905	38	...	7.5	1.29
1906	39	...	7.5	1.39
1907	40	...	9.1	1.29
1908	41	...	9.6	1.26
1909	42	...	9.0	1.21
1910	43	...	9.0	1.21
1911	44	...	8.7	1.16
1912	大正 元年	...	8.5	1.17
1913	2	...	8.4	1.16
1914	3	...	8.7	1.15
1915	4	...	8.4	1.14
1916	5	...	8.1	1.13
1917	6	...	8.3	1.03
1918	7	...	9.1	1.03
1919	8	...	8.7	1.03
1920	9	...	9.8	0.99
1921	10	...	9.2	0.94
1922	11	...	9.0	0.92
1923	12	...	8.8	0.88
1924	13	...	8.7	0.88
1925	14	...	8.7	0.87
1926	昭和 元年	...	8.3	0.83
1927	2	...	7.9	0.82
1928	3	...	8.0	0.78
1929	4	...	7.8	0.81
1930	5	...	7.9	0.80
1931	6	...	7.6	0.77
1932	7	...	7.8	0.77
1933	8	...	7.2	0.73
1934	9	...	7.5	0.71
1935	10	...	8.0	0.70
1936	11	...	7.8	0.66
1937	12	...	9.5	0.66
1938	13	...	7.6	0.63
1939	14	...	7.8	0.64
1940	15	...	9.3	0.68
1941	16	...	11.0	0.69
1942	17	...	9.4	0.64
1943	18	...	10.2	0.68
1947	22	...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...
1948	23	...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...
1949	24	...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...
1950	25	...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6
1951	26	...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7
1952	27	...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6
1953	28	...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0
1954	29	...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1

注：*印は概数である。

- 2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。
- 3) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口)にあてはめて算出した指標である。
- 4) 妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除している。

年次		2) 周産期死亡率 (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率	合計特殊 出生率	3) 年齢調整死亡率 (人口千対)		4) (参考) 周産期死亡率 (出生千対)
						男	女	
1955	昭和 30 年	...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9
1956	31	...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5
1957	32	...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0
1958	33	...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9
1959	34	...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0
1960	35	...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4
1961	36	...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9
1962	37	...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7
1963	38	...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2
1964	39	...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1
1965	40	...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1
1966	41	...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3
1967	42	...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3
1968	43	...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5
1969	44	...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0
1970	45	...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7
1971	46	...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4
1972	47	...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0
1973	48	...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0
1974	49	...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9
1975	50	...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0
1976	51	...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8
1977	52	...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1
1978	53	...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0
1979	54	21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5
1980	55	20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7
1981	56	19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8
1982	57	18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1
1983	58	16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3
1984	59	16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7
1985	60	15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0
1986	61	14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3
1987	62	13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9
1988	63	12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5
1989	平成 元年	12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0
1990	2	11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7
1991	3	8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3
1992	4	8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2
1993	5	7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0
1994	6	7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0
1995	7	7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7
1996	8	6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4
1997	9	6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2
1998	10	6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1
1999	11	6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0
2000	12	5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8
2001	13	5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6
2002	14	5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7
2003	15	5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6
2004	16	5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3
2005	17	4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3
2006	18	4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1
2007	19	4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0
2008	20	4.3	5.8	1.99	1.37	5.6	2.8	2.9
2009	21	4.2	5.6	2.01	1.37	5.4	2.7	2.9
2010	22	4.2	5.5	1.99	1.39	5.4	2.7	2.9
2011	23	4.1	5.2	1.87	1.39	5.5	2.9	2.8
2012	24	4.0	5.3	1.87	1.41	5.2	2.7	2.7
2013	25	3.7	5.3	1.84	1.43	5.1	2.7	2.6
2014	26	3.7	5.1	1.77	1.42	5.0	2.6	2.5
2015	* 27	3.7	5.1	1.80	1.46	2.5

第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別

(単位：人)

母の年齢	昭和60年	平成7年	17	24	25	26	*27
総数 ¹⁾	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 037 231	1 029 816	1 003 539	1 005 656
19歳以下	17 877	16 112	16 573	12 770	12 964	13 011	11 927
20～24	247 341	193 514	128 135	95 805	91 250	86 590	84 459
25～29	682 885	492 714	339 328	292 464	282 794	267 847	262 251
30～34	381 466	371 773	404 700	367 715	365 404	359 323	364 863
35～39	93 501	100 053	153 440	225 480	229 741	225 889	228 289
40～44	8 224	12 472	19 750	42 031	46 546	49 606	52 557
45歳以上	245	414	598	960	1 116	1 272	1 308

注：*印は概数である。

1)総数には母の年齢不詳を含む。

第4表 出生数の年次推移，出生順位別

(単位：人)

出生順位	昭和60年	平成7年	17	24	25	26	*27
総数	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 037 231	1 029 816	1 003 539	1 005 656
第1子	602 005	567 530	512 412	484 710	481 418	474 196	478 071
第2子	562 920	428 394	399 307	382 461	379 466	364 763	363 219
第3子以上	266 652	191 140	150 811	170 060	168 932	164 580	164 366

注：*印は概数である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

総 数 (3-1)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	24	25	26	* 27
総 数 ¹⁾	625.5	741.9	858.8	997.5	1 009.1	1 014.9	1 029.4
0～4歳	145.3	118.3	73.9	60.8	57.0	55.9	52.4
5～9	21.1	19.0	11.1	9.3	8.5	8.7	8.6
10～14	16.5	15.9	9.8	8.7	8.1	8.8	8.5
15～19	47.2	39.6	27.6	22.9	21.2	20.3	20.7
20～24	57.1	52.1	46.9	40.7	40.4	38.7	35.0
25～29	60.9	53.4	51.5	46.8	43.4	44.5	41.6
30～34	74.5	64.4	62.0	53.2	52.6	53.5	49.7
35～39	104.2	88.7	86.9	73.4	72.2	69.1	65.9
40～44	175.6	143.7	128.5	111.0	106.4	104.4	101.1
45～49	277.1	228.9	205.9	171.2	169.7	161.9	157.3
50～54	455.6	371.5	331.3	273.8	269.5	258.1	249.7
55～59	654.3	565.3	484.9	421.4	409.6	399.9	383.5
60～64	948.7	917.4	730.1	662.5	655.0	642.5	618.2
65～69	1 554.0	1 397.9	1 088.9	982.2	953.3	935.5	912.1
70～74	2 717.5	2 191.5	1 821.1	1 514.2	1 473.4	1 455.3	1 474.5
75～79	4 980.5	3 827.8	3 029.1	2 637.5	2 568.9	2 510.9	2 420.9
80～84	8 540.5	6 882.0	5 109.4	4 797.4	4 721.1	4 552.9	4 441.9
85～89	14 725.6	11 847.5	8 947.0	8 472.0	8 363.4	8 177.0	8 091.3
90～94 ²⁾	23 364.8	21 468.2	15 167.7	14 951.9	14 624.2	14 295.0	14 225.8
95～99	…	…	23 894.8	25 357.3	24 936.3	23 965.0	23 323.1
100歳以上	…	…	37 771.1	41 147.1	39 961.8	39 018.3	40 040.3

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

男 (3-2)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	24	25	26	* 27
総 数 ¹⁾	690.6	822.9	949.4	1 068.9	1 076.5	1 081.8	1 092.8
0～4歳	158.8	129.0	80.6	62.8	60.9	58.3	55.9
5～9	26.6	22.6	13.5	10.6	9.9	10.3	9.4
10～14	19.9	18.8	11.8	10.2	9.6	11.0	9.4
15～19	69.8	55.4	36.4	30.0	28.6	27.7	27.7
20～24	81.4	73.1	62.4	57.1	56.0	54.1	49.1
25～29	80.7	73.3	70.1	62.4	59.0	59.4	55.4
30～34	93.3	81.7	80.5	68.1	67.0	69.5	64.0
35～39	131.9	113.5	113.1	93.5	91.9	85.8	82.9
40～44	227.7	183.8	169.3	141.0	134.9	131.7	126.6
45～49	371.7	295.2	275.6	221.2	216.5	204.5	198.9
50～54	624.6	498.6	448.1	358.5	352.7	335.6	323.7
55～59	906.7	784.7	675.9	577.4	558.0	538.0	521.9
60～64	1 314.9	1 311.6	1 046.2	945.9	925.8	903.6	870.6
65～69	2 159.4	2 002.8	1 559.7	1 419.0	1 371.5	1 345.2	1 314.1
70～74	3 707.7	3 154.7	2 637.3	2 174.3	2 124.8	2 104.0	2 133.3
75～79	6 581.0	5 461.1	4 401.7	3 792.2	3 683.6	3 591.8	3 447.0
80～84	10 799.1	9 484.5	7 328.5	6 886.1	6 759.2	6 481.9	6 296.9
85～89	18 136.2	15 648.6	12 638.9	11 850.6	11 640.6	11 388.1	11 206.9
90～94 ²⁾	25 429.3	26 734.7	20 217.3	20 198.1	19 459.2	18 861.4	18 832.7
95～99	…	…	30 937.2	32 345.0	30 980.6	30 679.0	28 862.3
100歳以上	…	…	46 157.9	45 628.6	46 414.3	42 375.0	46 787.5

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

女 (3-3)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	24	25	26	* 27
総 数 ¹⁾	562.7	664.0	772.3	929.7	945.1	951.5	969.2
0～4歳	131.2	107.2	66.9	58.7	53.0	53.4	48.7
5～9	15.3	15.2	8.6	7.8	7.1	7.2	7.8
10～14	13.1	12.9	7.8	7.3	6.5	6.6	7.5
15～19	23.7	22.9	18.4	15.4	13.5	12.6	13.4
20～24	31.8	30.2	30.5	23.5	23.8	22.5	20.1
25～29	40.7	32.8	32.2	30.5	27.1	28.9	27.0
30～34	55.6	46.6	43.1	37.8	37.7	37.0	34.9
35～39	76.0	63.5	60.2	52.6	52.0	51.7	48.3
40～44	124.1	103.2	86.9	80.2	77.0	76.2	74.8
45～49	184.6	162.1	135.8	120.4	122.1	118.5	114.7
50～54	289.7	246.8	214.9	188.7	185.8	179.9	175.2
55～59	414.9	353.7	297.4	267.2	262.8	263.5	246.4
60～64	663.0	548.9	430.7	389.6	394.4	390.6	374.2
65～69	1 106.4	864.2	659.0	579.7	565.8	554.0	536.6
70～74	1 998.4	1 513.4	1 130.4	940.0	905.9	890.2	901.9
75～79	3 871.3	2 814.8	1 998.0	1 737.1	1 692.7	1 655.3	1 602.3
80～84	7 165.7	5 429.7	3 870.6	3 436.3	3 381.6	3 272.5	3 196.2
85～89	13 067.1	10 072.4	7 364.1	6 854.8	6 742.5	6 546.8	6 483.5
90～94 ²⁾	22 490.8	19 574.7	13 480.3	13 368.5	13 173.9	12 874.9	12 710.8
95～99	…	…	22 176.4	23 804.4	23 597.9	22 524.6	22 128.8
100歳以上	…	…	36 310.6	40 434.1	39 020.8	39 256.9	39 040.7

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因簡単分類別（2-1）

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数 （ 人 ）		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成27年	平成26年	*平成27年	平成26年	
	総 数	1 290 428	1 273 004	1 029.4	1 014.9	100.0
01000	感染症及び寄生虫症	25 107	25 569	20.0	20.4	1.9
01100	腸管感染症	2 325	2 417	1.9	1.9	0.2
01200	結 核	1 955	2 100	1.6	1.7	0.2
01201	呼吸器結核	1 722	1 836	1.4	1.5	0.1
01202	その他の結核	233	264	0.2	0.2	0.0
01300	敗 血 症	11 313	11 279	9.0	9.0	0.9
01400	ウイルス肝炎	4 507	4 747	3.6	3.8	0.3
01401	B型ウイルス肝炎	406	482	0.3	0.4	0.0
01402	C型ウイルス肝炎	3 876	4 033	3.1	3.2	0.3
01403	その他のウイルス肝炎	225	232	0.2	0.2	0.0
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病	57	45	0.0	0.0	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 950	4 981	3.9	4.0	0.4
02000	新 生 物	381 443	379 109	304.3	302.2	29.6
02100	悪性新生物	370 131	368 103	295.2	293.5	28.7
02101	口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物	7 373	7 415	5.9	5.9	0.6
02102	食道の悪性新生物	11 734	11 576	9.4	9.2	0.9
02103	胃の悪性新生物	46 659	47 903	37.2	38.2	3.6
02104	結腸の悪性新生物	34 313	33 297	27.4	26.5	2.7
02105	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	15 352	15 188	12.2	12.1	1.2
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	28 876	29 543	23.0	23.6	2.2
02107	胆のう及び その他の胆道の悪性新生物	18 142	18 117	14.5	14.4	1.4
02108	膵の悪性新生物	31 809	31 716	25.4	25.3	2.5
02109	喉頭の悪性新生物	972	978	0.8	0.8	0.1
02110	気管，気管支及び肺の悪性新生物	74 334	73 396	59.3	58.5	5.8
02111	皮膚の悪性新生物	1 503	1 657	1.2	1.3	0.1
02112	乳房の悪性新生物	13 695	13 323	10.9	10.6	1.1
02113	子宮の悪性新生物 ¹⁾	6 427	6 429	10.0	10.0	0.5
02114	卵巣の悪性新生物 ¹⁾	4 677	4 840	7.3	7.5	0.4
02115	前立腺の悪性新生物 ²⁾	11 321	11 507	18.6	18.9	0.9
02116	膀胱の悪性新生物	8 128	7 760	6.5	6.2	0.6

注：*印は概数である。

1) 女性人口10万に対する率である。

2) 男性人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数 (人)		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成27年	平成26年	*平成27年	平成26年	
02117	中枢神経系の悪性新生物	2 442	2 326	1.9	1.9	0.2
02118	悪性リンパ腫	11 821	11 480	9.4	9.2	0.9
02119	白 血 病	8 630	8 196	6.9	6.5	0.7
02120	その他のリンパ組織, 造血組織及び 関連組織の悪性新生物	4 173	4 237	3.3	3.4	0.3
02121	その他の悪性新生物	27 750	27 219	22.1	21.7	2.2
02200	その他の新生物	11 312	11 006	9.0	8.8	0.9
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 489	2 581	2.0	2.1	0.2
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	8 823	8 425	7.0	6.7	0.7
03000	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	4 357	4 313	3.5	3.4	0.3
03100	貧 血	1 989	1 926	1.6	1.5	0.2
03200	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	2 368	2 387	1.9	1.9	0.2
04000	内分泌, 栄養及び代謝疾患	20 895	21 065	16.7	16.8	1.6
04100	糖 尿 病	13 307	13 669	10.6	10.9	1.0
04200	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	7 588	7 396	6.1	5.9	0.6
05000	精神及び行動の障害	13 160	12 684	10.5	10.1	1.0
05100	血管性及び詳細不明の認知症	11 094	10 587	8.8	8.4	0.9
05200	その他の精神及び行動の障害	2 066	2 097	1.6	1.7	0.2
06000	神経系の疾患	30 869	28 384	24.6	22.6	2.4
06100	髄 膜 炎	297	304	0.2	0.2	0.0
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	2 263	2 314	1.8	1.8	0.2
06300	パーキンソン病	7 154	6 578	5.7	5.2	0.6
06400	アルツハイマー病	10 534	9 453	8.4	7.5	0.8
06500	その他の神経系の疾患	10 621	9 735	8.5	7.8	0.8
07000	眼及び付属器の疾患	4	3	0.0	0.0	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	14	12	0.0	0.0	0.0
09000	循環器系の疾患	338 806	341 795	270.3	272.5	26.3
09100	高血圧性疾患	6 725	6 932	5.4	5.5	0.5
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 213	3 394	2.6	2.7	0.2
09102	その他の高血圧性疾患	3 512	3 538	2.8	2.8	0.3
09200	心疾患 (高血圧性を除く)	195 933	196 925	156.3	157.0	15.2
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 310	2 308	1.8	1.8	0.2
09202	急性心筋梗塞	37 187	38 991	29.7	31.1	2.9
09203	その他の虚血性心疾患	34 385	34 894	27.4	27.8	2.7
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	10 656	10 217	8.5	8.1	0.8

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別（2-2）

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数（人）		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合（%）
		*平成27年	平成26年	*平成27年	平成26年	
09205	心筋症	3 829	3 841	3.1	3.1	0.3
09206	不整脈及び伝導障害	30 284	29 739	24.2	23.7	2.3
09207	心不全	71 820	71 656	57.3	57.1	5.6
09208	その他の心疾患	5 462	5 279	4.4	4.2	0.4
09300	脳血管疾患	111 875	114 207	89.2	91.1	8.7
09301	くも膜下出血	12 462	12 662	9.9	10.1	1.0
09302	脳内出血	32 090	32 550	25.6	26.0	2.5
09303	脳梗塞	64 464	66 058	51.4	52.7	5.0
09304	その他の脳血管疾患	2 859	2 937	2.3	2.3	0.2
09400	大動脈瘤及び解離	16 865	16 423	13.5	13.1	1.3
09500	その他の循環器系疾患	7 408	7 308	5.9	5.8	0.6
10000	呼吸器系の疾患	208 163	202 628	166.0	161.5	16.1
10100	インフルエンザ	2 261	1 130	1.8	0.9	0.2
10200	肺炎	120 846	119 650	96.4	95.4	9.4
10300	急性気管支炎	442	505	0.4	0.4	0.0
10400	慢性閉塞性肺疾患	15 749	16 184	12.6	12.9	1.2
10500	喘息	1 510	1 550	1.2	1.2	0.1
10600	その他の呼吸器系の疾患	67 355	63 609	53.7	50.7	5.2
11000	消化器系の疾患	48 116	47 944	38.4	38.2	3.7
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2 647	2 795	2.1	2.2	0.2
11200	ヘルニア及び腸閉塞	6 906	6 841	5.5	5.5	0.5
11300	肝疾患	15 630	15 692	12.5	12.5	1.2
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	7 640	7 800	6.1	6.2	0.6
11302	その他の肝疾患	7 990	7 892	6.4	6.3	0.6
11400	その他の消化器系の疾患	22 933	22 616	18.3	18.0	1.8
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1 636	1 633	1.3	1.3	0.1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	6 048	5 992	4.8	4.8	0.5
14000	腎尿路生殖器系の疾患	37 019	36 757	29.5	29.3	2.9
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	4 481	4 354	3.6	3.5	0.3
14200	腎不全	24 532	24 776	19.6	19.8	1.9
14201	急性腎不全	3 568	3 687	2.8	2.9	0.3
14202	慢性腎不全	15 724	15 717	12.5	12.5	1.2
14203	詳細不明の腎不全	5 240	5 372	4.2	4.3	0.4
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	8 006	7 627	6.4	6.1	0.6

注：1) 女性人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数 (人)		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成27年	平成26年	*平成27年	平成26年	*平成27年
15000	妊娠, 分娩及び産じょく ¹⁾	44	33	0.1	0.1	0.0
16000	周産期に発生した病態	499	532	0.4	0.4	0.0
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	39	59	0.0	0.0	0.0
16200	出産外傷	6	13	0.0	0.0	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害 及び心血管障害	256	266	0.2	0.2	0.0
16400	周産期に特異的な感染症	34	44	0.0	0.0	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	84	64	0.1	0.1	0.0
16600	その他の周産期に発生した病態	80	86	0.1	0.1	0.0
17000	先天奇形, 変形及び染色体異常	2 005	2 042	1.6	1.6	0.2
17100	神経系の先天奇形	88	102	0.1	0.1	0.0
17200	循環器系の先天奇形	948	945	0.8	0.8	0.1
17201	心臓の先天奇形	666	659	0.5	0.5	0.1
17202	その他の循環器系の先天奇形	282	286	0.2	0.2	0.0
17300	消化器系の先天奇形	114	111	0.1	0.1	0.0
17400	その他の先天奇形及び変形	562	584	0.4	0.5	0.0
17500	染色体異常, 他に分類されないもの	293	300	0.2	0.2	0.0
18000	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査 所見で他に分類されないもの	104 584	92 960	83.4	74.1	8.1
18100	老 衰	84 755	75 389	67.6	60.1	6.6
18200	乳幼児突然死症候群	94	145	0.1	0.1	0.0
18300	その他の症状, 徴候及び異常臨床所見 ・異常検査所見で他に分類されないもの	19 735	17 426	15.7	13.9	1.5
20000	傷病及び死亡の外因	67 659	69 549	54.0	55.4	5.2
20100	不慮の事故	38 195	39 029	30.5	31.1	3.0
20101	交通事故	5 544	5 717	4.4	4.6	0.4
20102	転倒・転落	7 457	7 946	5.9	6.3	0.6
20103	不慮の溺死及び溺水	7 464	7 508	6.0	6.0	0.6
20104	不慮の窒息	9 223	9 806	7.4	7.8	0.7
20105	煙, 火及び火炎への曝露	972	1 086	0.8	0.9	0.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	586	677	0.5	0.5	0.0
20107	その他の不慮の事故	6 949	6 289	5.5	5.0	0.5
20200	自 殺	23 121	24 417	18.4	19.5	1.8
20300	他 殺	313	357	0.2	0.3	0.0
20400	その他の外因	6 030	5 746	4.8	4.6	0.5
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-

第7表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

総数 (3-1)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数 (人)	死亡率	死 因	死亡数 (人)	死亡率	死 因	死亡数 (人)	死亡率
総数 ²⁾	悪性新生物	370 131	295.2	心 疾 患	195 933	156.3	肺 炎	120 846	96.4
0歳 ³⁾	先天奇形等	708	70.4	呼吸障害等	247	24.6	乳幼児突然死 症候群	93	9.2
1～4	先天奇形等	157	3.8	不慮の事故	108	2.6	悪性新生物	68	1.6
5～9	悪性新生物	100	1.9	不慮の事故	87	1.7	先天奇形等	31	0.6
10～14	悪性新生物	107	1.9	自 殺	88	1.6	不慮の事故	74	1.3
15～19	自 殺	446	7.6	不慮の事故	289	4.9	悪性新生物	147	2.5
20～24	自 殺	1 051	17.5	不慮の事故	364	6.1	悪性新生物	176	2.9
25～29	自 殺	1 230	19.5	悪性新生物	323	5.1	不慮の事故	304	4.8
30～34	自 殺	1 398	19.6	悪性新生物	654	9.2	不慮の事故	354	5.0
35～39	自 殺	1 572	19.2	悪性新生物	1 284	15.7	心 疾 患	512	6.2
40～44	悪性新生物	2 845	29.5	自 殺	1 982	20.5	心 疾 患	1 139	11.8
45～49	悪性新生物	4 516	52.5	自 殺	1 964	22.8	心 疾 患	1 743	20.2
50～54	悪性新生物	7 759	98.3	心 疾 患	2 547	32.3	自 殺	2 007	25.4
55～59	悪性新生物	13 117	175.1	心 疾 患	3 414	45.6	脳血管疾患	2 171	29.0
60～64	悪性新生物	25 309	299.7	心 疾 患	6 389	75.6	脳血管疾患	3 626	42.9
65～69	悪性新生物	43 667	451.2	心 疾 患	10 542	108.9	脳血管疾患	5 971	61.7
70～74	悪性新生物	51 614	665.8	心 疾 患	13 935	179.8	脳血管疾患	8 564	110.5
75～79	悪性新生物	58 112	916.7	心 疾 患	20 693	326.4	脳血管疾患	12 811	202.1
80～84	悪性新生物	66 482	1 327.5	心 疾 患	33 431	667.6	肺 炎	22 769	454.7
85～89	悪性新生物	55 951	1 766.7	心 疾 患	43 199	1 364.0	肺 炎	31 828	1 005.0
90～94	心 疾 患	36 315	2 620.1	悪性新生物	28 710	2 071.4	老 衰	27 368	1 974.6
95～99	老 衰	20 357	5 233.2	心 疾 患	17 211	4 424.4	肺 炎	11 794	3 031.9
100歳以上	老 衰	9 071	14 630.6	心 疾 患	4 167	6 721.0	肺 炎	2 935	4 733.9

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）別

平成27年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数 (人)	死亡率	死 因	死亡数 (人)	死亡率	
脳血管疾患	111 875	89.2	老 衰	84 755	67.6	総 数 ²⁾
出血性障害等	83	8.3	不慮の事故	79	7.9	0歳 ³⁾
心疾患	49	1.2	肺炎	49	1.2	1～4
心疾患	25	0.5	肺炎	25	0.5	5～9
先天奇形等	28	0.5	心疾患	18	0.3	10～14
心疾患	52	0.9	その他の新生物	21	0.4	15～19
心疾患	81	1.3	脳血管疾患	24	0.4	20～24
心疾患	152	2.4	脳血管疾患	52	0.8	25～29
心疾患	231	3.2	脳血管疾患	129	1.8	30～34
不慮の事故	454	5.5	脳血管疾患	311	3.8	35～39
脳血管疾患	816	8.4	不慮の事故	628	6.5	40～44
脳血管疾患	1 206	14.0	不慮の事故	703	8.2	45～49
脳血管疾患	1 668	21.1	肝疾患	983	12.5	50～54
自殺	1 818	24.3	不慮の事故	1 128	15.1	55～59
自殺	1 805	21.4	不慮の事故	1 763	20.9	60～64
肺炎	3 459	35.7	不慮の事故	2 595	26.8	65～69
肺炎	6 359	82.0	不慮の事故	3 507	45.2	70～74
肺炎	11 984	189.1	不慮の事故	4 959	78.2	75～79
脳血管疾患	20 550	410.3	老 衰	7 369	147.1	80～84
脳血管疾患	24 690	779.6	老 衰	17 854	563.8	85～89
肺炎	26 481	1 910.6	脳血管疾患	18 980	1 369.4	90～94
脳血管疾患	8 327	2 140.6	悪性新生物	7 976	2 050.4	95～99
脳血管疾患	1 915	3 088.7	悪性新生物	1 173	1 891.9	100歳以上

第7表 死因順位¹⁾ (1~5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

男 (3-2)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数 (人)	死亡率	死 因	死亡数 (人)	死亡率	死 因	死亡数 (人)	死亡率
総数 ²⁾	悪性新生物	219 390	359.6	心 疾 患	92 034	150.9	肺 炎	65 552	107.4
0歳 ³⁾	先天奇形等	344	66.7	呼吸障害等	134	26.0	乳幼児突然死 症候群	60	11.6
1~4	先天奇形等	76	3.6	不慮の事故	66	3.1	悪性新生物	36	1.7
5~9	不慮の事故	63	2.3	悪性新生物	61	2.3	心 疾 患	16	0.6
10~14	自 殺	61	2.1	悪性新生物	52	1.8	不慮の事故	52	1.8
15~19	自 殺	309	10.2	不慮の事故	232	7.7	悪性新生物	86	2.8
20~24	自 殺	780	25.3	不慮の事故	294	9.5	悪性新生物	112	3.6
25~29	自 殺	910	28.2	不慮の事故	240	7.4	悪性新生物	153	4.7
30~34	自 殺	1 034	28.5	不慮の事故	272	7.5	悪性新生物	260	7.2
35~39	自 殺	1 163	27.9	悪性新生物	521	12.5	心 疾 患	402	9.6
40~44	自 殺	1 460	29.8	悪性新生物	1 223	24.9	心 疾 患	901	18.4
45~49	悪性新生物	2 034	46.7	自 殺	1 410	32.4	心 疾 患	1 378	31.7
50~54	悪性新生物	3 920	98.8	心 疾 患	2 027	51.1	自 殺	1 474	37.2
55~59	悪性新生物	7 620	204.3	心 疾 患	2 750	73.7	脳血管疾患	1 561	41.9
60~64	悪性新生物	16 168	389.5	心 疾 患	5 026	121.1	脳血管疾患	2 580	62.2
65~69	悪性新生物	29 356	628.1	心 疾 患	7 844	167.8	脳血管疾患	4 203	89.9
70~74	悪性新生物	34 839	966.4	心 疾 患	9 329	258.8	脳血管疾患	5 717	158.6
75~79	悪性新生物	37 798	1 343.7	心 疾 患	12 568	446.8	肺 炎	8 373	297.7
80~84	悪性新生物	40 625	2 018.1	心 疾 患	17 332	861.0	肺 炎	14 605	725.5
85~89	悪性新生物	30 101	2 792.3	心 疾 患	17 816	1 652.7	肺 炎	17 721	1 643.9
90~94	悪性新生物	11 723	3 417.8	肺 炎	10 905	3 179.3	心 疾 患	10 221	2 979.9
95~99	肺 炎	3 502	5 075.4	心 疾 患	3 323	4 815.9	老 衰	3 299	4 781.2
100歳以上	老 衰	1 121	14 012.5	肺 炎	647	8 087.5	心 疾 患	619	7 737.5

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）別

平成27年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数 (人)	死亡率	死 因	死亡数 (人)	死亡率	
脳血管疾患	53 519	87.7	不慮の事故	22 098	36.2	総数 ²⁾
出血性障害等	49	9.5	不慮の事故	48	9.3	0歳 ³⁾
肺炎	34	1.6	心疾患	25	1.2	1～4
先天奇形等	12	0.4	肺炎	11	0.4	5～9
先天奇形等	12	0.4	心疾患	11	0.4	10～14
心疾患	34	1.1	その他の新生物	12	0.4	15～19
心疾患	60	1.9	脳血管疾患	13	0.4	20～24
心疾患	118	3.7	脳血管疾患	32	1.0	25～29
心疾患	182	5.0	脳血管疾患	80	2.2	30～34
不慮の事故	353	8.5	脳血管疾患	210	5.0	35～39
脳血管疾患	564	11.5	不慮の事故	479	9.8	40～44
脳血管疾患	839	19.3	不慮の事故	525	12.1	45～49
脳血管疾患	1 153	29.1	肝疾患	795	20.0	50～54
自殺	1 335	35.8	肝疾患	892	23.9	55～59
不慮の事故	1 318	31.8	自殺	1 293	31.1	60～64
肺炎	2 658	56.9	不慮の事故	1 873	40.1	65～69
肺炎	4 743	131.6	不慮の事故	2 300	63.8	70～74
脳血管疾患	7 859	279.4	不慮の事故	2 968	105.5	75～79
脳血管疾患	11 070	549.9	不慮の事故	3 931	195.3	80～84
脳血管疾患	10 478	972.0	老 衰	5 780	536.2	85～89
老 衰	6 087	1 774.6	脳血管疾患	5 332	1 554.5	90～94
悪性新生物	2 392	3 466.7	脳血管疾患	1 573	2 279.7	95～99
悪性新生物	279	3 487.5	脳血管疾患	214	2 675.0	100歳以上

第7表 死因順位¹⁾ (1~5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

女 (3-3)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数 (人)	死亡率	死 因	死亡数 (人)	死亡率	死 因	死亡数 (人)	死亡率
総数 ²⁾	悪性新生物	150 741	234.2	心 疾 患	103 899	161.4	老 衰	63 876	99.3
0歳 ³⁾	先天奇形等	364	74.3	呼吸障害等	113	23.1	出血性障害等	34	6.9
1~4	先天奇形等	81	4.0	不慮の事故	42	2.1	悪性新生物	32	1.6
5~9	悪性新生物	39	1.5	不慮の事故	24	0.9	先天奇形等	19	0.7
10~14	悪性新生物	55	2.0	自 殺	27	1.0	不慮の事故	22	0.8
15~19	自 殺	137	4.8	悪性新生物	61	2.1	不慮の事故	57	2.0
20~24	自 殺	271	9.3	不慮の事故	70	2.4	悪性新生物	64	2.2
25~29	自 殺	320	10.4	悪性新生物	170	5.5	不慮の事故	64	2.1
30~34	悪性新生物	394	11.2	自 殺	364	10.4	不慮の事故	82	2.3
35~39	悪性新生物	763	18.9	自 殺	409	10.2	心 疾 患	110	2.7
40~44	悪性新生物	1 622	34.1	自 殺	522	11.0	脳血管疾患	252	5.3
45~49	悪性新生物	2 482	58.3	自 殺	554	13.0	脳血管疾患	367	8.6
50~54	悪性新生物	3 839	97.7	自 殺	533	13.6	心 疾 患	520	13.2
55~59	悪性新生物	5 497	146.0	心 疾 患	664	17.6	脳血管疾患	610	16.2
60~64	悪性新生物	9 141	212.8	心 疾 患	1 363	31.7	脳血管疾患	1 046	24.3
65~69	悪性新生物	14 311	285.9	心 疾 患	2 698	53.9	脳血管疾患	1 768	35.3
70~74	悪性新生物	16 775	404.5	心 疾 患	4 606	111.1	脳血管疾患	2 847	68.7
75~79	悪性新生物	20 314	576.1	心 疾 患	8 125	230.4	脳血管疾患	4 952	140.4
80~84	悪性新生物	25 857	863.6	心 疾 患	16 099	537.7	脳血管疾患	9 480	316.6
85~89	悪性新生物	25 850	1 237.4	心 疾 患	25 383	1 215.1	脳血管疾患	14 212	680.3
90~94	心 疾 患	26 094	2 501.8	老 衰	21 281	2 040.4	悪性新生物	16 987	1 628.7
95~99	老 衰	17 058	5 330.6	心 疾 患	13 888	4 340.0	肺 炎	8 292	2 591.3
100歳以上	老 衰	7 950	14 722.2	心 疾 患	3 548	6 570.4	肺 炎	2 288	4 237.0

注：1) [1] 乳児(0歳)の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患(高血圧性を除く)

先天奇形等←先天奇形, 変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）別

平成27年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数 (人)	死亡率	死 因	死亡数 (人)	死亡率	
脳血管疾患	58 356	90.7	肺 炎	55 294	85.9	総数 ²⁾
乳幼児突然死 症候群	33	6.7	不慮の事故	31	6.3	0歳 ³⁾
心疾患	24	1.2	肺 炎	15	0.7	1～4
その他の新生物	14	0.5	肺 炎	14	0.5	5～9
先天奇形等	16	0.6	その他の新生物	10	0.4	10～14
心疾患	18	0.6	その他の新生物	9	0.3	15～19
心疾患	21	0.7	脳血管疾患	11	0.4	20～24
心疾患	34	1.1	脳血管疾患	20	0.7	25～29
心疾患	49	1.4	脳血管疾患	49	1.4	30～34
脳血管疾患	101	2.5	不慮の事故	101	2.5	35～39
心疾患	238	5.0	不慮の事故	149	3.1	40～44
心疾患	365	8.6	不慮の事故	178	4.2	45～49
脳血管疾患	515	13.1	不慮の事故	228	5.8	50～54
自殺	483	12.8	不慮の事故	248	6.6	55～59
自殺	512	11.9	不慮の事故	445	10.4	60～64
肺炎	801	16.0	不慮の事故	722	14.4	65～69
肺炎	1 616	39.0	不慮の事故	1 207	29.1	70～74
肺炎	3 611	102.4	不慮の事故	1 991	56.5	75～79
肺炎	8 164	272.7	老 衰	4 229	141.2	80～84
肺炎	14 107	675.3	老 衰	12 074	578.0	85～89
肺炎	15 576	1 493.4	脳血管疾患	13 648	1 308.5	90～94
脳血管疾患	6 754	2 110.6	悪性新生物	5 584	1 745.0	95～99
脳血管疾患	1 701	3 150.0	悪性新生物	894	1 655.6	100歳以上

第8表 人口動態総覧，都道府県（21大都市再掲）別

都道府県 ¹⁾ (21大都市)	出生数			死亡数			(再掲)			新生児 死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 005 656	515 441	490 215	1 290 428	666 704	623 724	1 916	1 042	874	902
北海道	36 695	18 838	17 857	60 669	31 394	29 275	73	38	35	36
青森	8 621	4 400	4 221	17 149	8 695	8 454	20	6	14	13
岩手	8 814	4 473	4 341	16 502	8 275	8 227	27	14	13	8
宮城	17 999	9 312	8 687	23 067	11 838	11 229	28	17	11	15
秋田	5 861	3 044	2 817	14 794	7 376	7 418	4	4	-	1
山形	7 831	3 968	3 863	14 961	7 438	7 523	18	11	7	7
福島	14 195	7 120	7 075	24 205	12 155	12 050	34	23	11	15
茨城	21 700	11 074	10 626	31 024	16 189	14 835	53	32	21	21
栃木	15 306	7 879	7 427	20 520	10 605	9 915	23	10	13	15
群馬	14 256	7 137	7 119	21 519	11 146	10 373	22	6	16	12
埼玉	56 077	28 740	27 337	62 561	34 308	28 253	111	62	49	48
千葉	47 013	24 040	22 973	56 073	30 302	25 771	101	46	55	50
東京都	113 194	58 192	55 002	111 657	59 148	52 509	189	101	88	89
神奈川	73 475	37 758	35 717	75 759	40 968	34 791	142	90	52	75
新潟	16 339	8 359	7 980	28 297	14 224	14 073	33	18	15	17
富山	7 566	3 875	3 691	12 731	6 506	6 225	11	3	8	8
石川	9 072	4 587	4 485	12 280	6 047	6 233	13	9	4	5
福井	6 230	3 226	3 004	8 971	4 450	4 521	11	8	3	2
山梨	5 987	3 078	2 909	9 635	4 902	4 733	12	9	3	4
長野	15 638	8 043	7 595	24 534	12 316	12 218	20	12	8	11
岐阜	15 464	7 981	7 483	21 996	11 391	10 605	30	14	16	12
静岡県	28 352	14 478	13 874	39 518	20 523	18 995	53	32	21	25
愛知	65 614	33 609	32 005	64 057	33 895	30 162	140	78	62	62
三重	13 950	7 153	6 797	20 138	10 293	9 845	29	18	11	18
滋賀	12 622	6 509	6 113	12 507	6 353	6 154	23	8	15	10
京都	19 644	10 218	9 426	25 471	12 893	12 578	50	20	30	31
大阪	70 596	35 936	34 660	83 578	44 781	38 797	125	63	62	44
兵庫県	44 015	22 672	21 343	55 391	28 371	27 020	74	35	39	30
奈良	9 832	5 041	4 791	13 920	7 077	6 843	17	6	11	10
和歌山	7 030	3 549	3 481	12 549	6 263	6 286	13	8	5	10
鳥取	4 624	2 400	2 224	7 272	3 623	3 649	15	9	6	8
島根	5 551	2 948	2 603	9 604	4 708	4 896	8	3	5	6
岡山	15 599	8 031	7 568	21 525	10 888	10 637	23	11	12	8
広島	23 678	12 021	11 657	29 880	15 022	14 858	53	37	16	25
山口	10 360	5 395	4 965	18 210	8 934	9 276	22	11	11	15
徳島	5 586	2 921	2 665	9 848	4 968	4 880	14	8	6	7
香川	7 719	4 008	3 711	11 593	5 785	5 808	11	7	4	7
愛媛	10 146	5 177	4 969	17 585	8 817	8 768	14	8	6	9
高知	5 052	2 544	2 508	10 020	4 872	5 148	8	6	2	2
福岡	45 235	23 137	22 098	50 258	25 013	25 245	99	52	47	45
佐賀	7 064	3 662	3 402	9 704	4 689	5 015	7	4	3	2
長崎	11 020	5 686	5 334	16 855	8 117	8 738	19	13	6	9
熊本	15 577	7 914	7 663	20 692	10 213	10 479	19	15	4	7
大分	9 112	4 636	4 476	13 958	6 931	7 027	17	11	6	9
宮崎	9 226	4 618	4 608	13 497	6 675	6 822	16	7	9	7
鹿児島	14 125	7 272	6 853	21 354	10 350	11 004	37	18	19	15
沖縄	16 941	8 744	8 197	11 326	5 992	5 334	34	21	13	16
外国 不詳	53 .	38 .	15 .	143 1 071	92 893	51 178	- 1	- -	- 1	- 1
(再掲)										
東京都区部	80 619	41 485	39 134	75 942	40 320	35 622	133	69	64	63
札幌市	14 589	7 543	7 046	17 523	9 083	8 440	27	19	8	10
仙台市	9 102	4 651	4 451	8 433	4 359	4 074	14	8	6	9
さいたま市	10 735	5 506	5 229	9 874	5 422	4 452	22	10	12	8
千葉市	7 274	3 635	3 639	8 002	4 354	3 648	19	8	11	10
横浜市	30 022	15 458	14 564	30 348	16 390	13 958	62	37	25	34
川崎市	14 703	7 557	7 146	10 409	5 810	4 599	20	13	7	10
相模原市	5 475	2 919	2 556	5 655	3 151	2 504	13	10	3	7
新潟市	6 182	3 163	3 019	8 251	4 148	4 103	12	6	6	5
静岡市	5 140	2 592	2 548	7 788	4 031	3 757	9	6	3	5
浜松市	6 756	3 480	3 276	7 901	4 148	3 753	11	6	5	7
名古屋市	19 605	9 970	9 635	20 965	10 981	9 984	36	18	18	17
京都市	11 052	5 799	5 253	13 744	6 913	6 831	28	8	20	20
大阪市	22 351	11 421	10 930	27 519	14 991	12 528	35	17	18	14
堺市	6 969	3 533	3 436	8 129	4 335	3 794	9	4	5	2
神戸市	11 909	6 134	5 775	15 168	7 657	7 511	17	8	9	5
岡山市	6 449	3 331	3 118	6 555	3 294	3 261	10	7	3	3
広島市	10 754	5 477	5 277	9 926	5 078	4 848	22	17	5	9
北九州市	7 864	3 981	3 883	10 504	5 268	5 236	22	13	9	5
福岡市	14 797	7 604	7 193	11 166	5 623	5 543	34	16	18	20
熊本市	7 062	3 591	3 471	6 767	3 307	3 460	11	10	1	4

注：1) 都道府県別の表章は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

平成27年
(単位：人、胎、組)

自 然 増 減 数	死 産 数			周 産 期 死 亡 数			婚 姻 件 数	離 婚 件 数	都 道 府 県 ¹⁾ (21大都市)
	総 数	自然死産	人工死産	総 数	妊娠満22週 以後の死産	早期新生児 死亡			
△ 284 772	22 621	10 858	11 763	3 729	3 064	665	635 096	226 198	全 国
△ 23 974	1 057	416	641	152	126	26	25 464	11 211	北 海 道
△ 8 528	216	102	114	40	30	10	5 433	2 267	青 森 県
△ 7 688	217	115	102	31	27	4	5 242	1 956	岩 手 県
△ 5 068	426	201	225	64	53	11	11 301	3 979	宮 城 県
△ 8 933	130	67	63	17	16	1	3 613	1 534	秋 田 県
△ 7 130	181	94	87	32	27	5	4 522	1 507	山 形 県
△ 10 010	359	191	168	72	60	12	8 888	3 240	福 島 県
△ 9 324	489	249	240	91	73	18	13 498	5 190	茨 城 県
△ 5 214	326	138	188	51	39	12	9 452	3 388	栃 木 県
△ 7 263	332	160	172	60	50	10	8 820	3 463	群 馬 県
△ 6 484	1 347	668	679	208	175	33	34 755	12 667	埼 玉 県
△ 9 060	1 107	621	486	179	144	35	30 200	10 916	千 葉 県
1 537	2 407	1 142	1 265	367	307	60	87 166	24 135	東 京 都
△ 2 284	1 500	750	750	290	230	60	48 261	16 234	東 京 都
△ 11 958	349	177	172	60	49	11	9 428	3 192	神 奈 川 県
△ 5 165	164	93	71	38	33	5	4 539	1 477	富 山 県
△ 3 208	188	104	84	47	43	4	5 200	1 703	石 川 県
△ 2 741	147	80	67	28	27	1	3 481	1 195	福 井 県
△ 3 648	137	58	79	17	15	2	3 831	1 441	山 梨 県
△ 8 896	326	161	165	47	39	8	9 606	3 366	長 野 県
△ 6 532	320	148	172	56	45	11	8 859	3 108	岐 阜 県
△ 11 166	539	265	274	105	84	21	17 666	6 504	静 岡 県
1 557	1 282	666	616	253	202	51	41 053	13 102	愛 知 県
△ 6 188	284	143	141	53	43	10	8 504	3 125	三 重 県
115	254	129	125	57	50	7	6 855	2 319	滋 賀 県
△ 5 827	427	197	230	86	59	27	12 431	4 423	京 都 府
△ 12 982	1 520	691	829	232	196	36	46 688	18 101	大 阪 府
△ 11 376	916	480	436	144	125	19	26 422	9 774	兵 庫 県
△ 4 088	214	106	108	52	44	8	5 692	2 309	和 歌 山 県
△ 5 519	177	61	116	17	11	6	4 326	1 891	和 歌 山 県
△ 2 648	101	55	46	24	17	7	2 681	993	鳥 取 県
△ 4 053	107	41	66	13	9	4	2 931	1 022	島 根 県
△ 5 926	344	139	205	55	50	5	9 261	3 296	岡 山 県
△ 6 202	484	230	254	80	63	17	13 712	4 942	広 島 県
△ 7 850	203	103	100	44	33	11	5 901	2 423	山 口 県
△ 4 262	123	61	62	21	17	4	3 229	1 211	徳 島 県
△ 3 874	167	81	86	26	19	7	4 626	1 767	香 川 県
△ 7 439	246	105	141	27	22	5	6 102	2 395	愛 媛 県
△ 4 968	111	55	56	18	16	2	3 057	1 356	高 知 県
△ 5 023	1 164	497	667	177	142	35	27 566	10 064	福 岡 県
△ 2 640	163	82	81	24	22	2	3 692	1 355	佐 賀 県
△ 5 835	275	141	134	34	29	5	6 118	2 304	長 崎 県
△ 5 115	413	174	239	44	38	6	8 249	3 290	熊 本 県
△ 4 846	286	112	174	48	41	7	5 315	2 066	大 分 県
△ 4 271	279	124	155	33	30	3	5 041	2 309	宮 崎 県
△ 7 229	379	177	202	58	46	12	7 724	3 085	鹿 児 島 県
5 615	423	203	220	55	47	8	8 695	3 603	沖 縄 県
△ 90	11	2	9	-	-	-	.	.	外 国 詳 情
.	4	3	1	2	1	1	.	.	(再 掲)
4 677	1 742	809	933	260	219	41	66 960	17 436	東 京 都 区 部
△ 2 934	426	159	267	63	54	9	10 800	4 492	札 幌 市
669	200	95	105	29	24	5	6 016	1 855	仙 台 市
861	231	107	124	33	28	5	6 691	2 038	さい たま 市
△ 728	188	121	67	34	26	8	4 612	1 711	千 葉 市
△ 326	583	292	291	120	90	30	19 632	6 541	横 浜 市
4 294	299	158	141	50	41	9	10 324	2 564	川 崎 市
△ 180	133	58	75	24	19	5	3 434	1 362	相 模 原 市
△ 2 069	131	59	72	20	17	3	3 670	1 159	新 潟 市
△ 2 648	119	56	63	16	12	4	3 369	1 213	静 岡 市
△ 1 145	110	64	46	22	15	7	4 056	1 312	浜 松 市
△ 1 360	406	198	208	78	62	16	13 731	4 279	名 古 屋 市
△ 2 692	250	119	131	48	31	17	7 676	2 553	京 都 市
△ 5 168	506	224	282	76	65	11	17 717	6 210	大 阪 市
△ 1 160	142	64	78	28	26	2	4 225	1 781	堺 市
△ 3 259	251	118	133	29	26	3	7 542	2 847	神 戸 市
△ 106	139	54	85	23	20	3	3 866	1 308	岡 山 市
828	207	98	109	34	26	8	6 366	2 178	広 島 市
△ 2 640	248	98	150	35	32	3	4 989	1 871	北 九 州 市
3 631	356	162	194	66	48	18	9 903	3 043	福 岡 市
295	167	65	102	20	16	4	3 954	1 447	熊 本 市

第9表 人口動態総覧（率），都道府県（21大都市再掲）別

都道府県 (21大都市)	出生率 (人口千対)	死亡率	乳児死亡率 (出生千対)	新生児死亡率	自然増減率 (人口千対)
全 国	8.0	10.3	1.9	0.9	△ 2.3
北海道	6.8	11.3	2.0	1.0	△ 4.5
青森	6.6	13.1	2.3	1.5	△ 6.5
岩手	6.9	12.9	3.1	0.9	△ 6.0
宮城	7.8	9.9	1.6	0.8	△ 2.2
秋田	5.7	14.5	0.7	0.2	△ 8.8
山形	7.0	13.4	2.3	0.9	△ 6.4
福島	7.5	12.7	2.4	1.1	△ 5.3
茨城	7.5	10.8	2.4	1.0	△ 3.2
栃木	7.9	10.5	1.5	1.0	△ 2.7
群馬	7.4	11.1	1.5	0.8	△ 3.8
埼玉	7.8	8.7	2.0	0.9	△ 0.9
千葉	7.7	9.1	2.1	1.1	△ 1.5
東京都	8.6	8.5	1.7	0.8	0.1
神奈川県	8.2	8.4	1.9	1.0	△ 0.3
新潟	7.1	12.3	2.0	1.0	△ 5.2
富山	7.2	12.1	1.5	1.1	△ 4.9
石川	7.9	10.7	1.4	0.6	△ 2.8
福山	8.0	11.5	1.8	0.3	△ 3.5
山梨	7.3	11.7	2.0	0.7	△ 4.4
長野	7.5	11.8	1.3	0.7	△ 4.3
岐阜	7.7	11.0	1.9	0.8	△ 3.3
静岡県	7.8	10.8	1.9	0.9	△ 3.1
愛知	9.0	8.8	2.1	0.9	0.2
三重	7.8	11.3	2.1	1.3	△ 3.5
滋賀	9.1	9.0	1.8	0.8	0.1
京都	7.6	9.9	2.5	1.6	△ 2.3
大阪	8.1	9.6	1.8	0.6	△ 1.5
兵庫県	8.1	10.1	1.7	0.7	△ 2.1
奈良	7.3	10.3	1.7	1.0	△ 3.0
和歌山	7.3	13.1	1.8	1.4	△ 5.8
鳥取	8.1	12.8	3.2	1.7	△ 4.6
島根	8.1	13.9	1.4	1.1	△ 5.9
岡山	8.2	11.3	1.5	0.5	△ 3.1
広島	8.4	10.6	2.2	1.1	△ 2.2
山口	7.4	13.1	2.1	1.4	△ 5.6
徳島	7.4	13.1	2.5	1.3	△ 5.7
香川	8.0	12.0	1.4	0.9	△ 4.0
愛媛	7.4	12.8	1.4	0.9	△ 5.4
高知	7.0	13.8	1.6	0.4	△ 6.9
福岡	8.9	9.9	2.2	1.0	△ 1.0
佐賀	8.5	11.7	1.0	0.3	△ 3.2
長崎	8.0	12.3	1.7	0.8	△ 4.3
熊本	8.8	11.6	1.2	0.4	△ 2.9
大分	7.9	12.1	1.9	1.0	△ 4.2
宮崎	8.4	12.3	1.7	0.8	△ 3.9
鹿児島	8.6	13.0	2.6	1.1	△ 4.4
沖縄	11.9	8.0	2.0	0.9	3.9
(再掲)					
東京都区部	8.7	8.2	1.6	0.8	0.5
札幌市	7.5	9.0	1.9	0.7	△ 1.5
仙台市	8.4	7.8	1.5	1.0	0.6
さいたま市	8.5	7.8	2.0	0.7	0.7
千葉市	7.5	8.2	2.6	1.4	△ 0.7
横浜市	8.1	8.1	2.1	1.1	△ 0.1
川崎市	10.0	7.1	1.4	0.7	2.9
相模原市	7.6	7.8	2.4	1.3	△ 0.2
新潟市	7.6	10.2	1.9	0.8	△ 2.6
静岡市	7.3	11.0	1.8	1.0	△ 3.8
浜松市	8.5	9.9	1.6	1.0	△ 1.4
名古屋市	8.5	9.1	1.8	0.9	△ 0.6
京都市	7.5	9.3	2.5	1.8	△ 1.8
大阪市	8.3	10.2	1.6	0.6	△ 1.9
堺市	8.3	9.7	1.3	0.3	△ 1.4
神戸市	7.7	9.9	1.4	0.4	△ 2.1
岡山市	9.0	9.1	1.6	0.5	△ 0.1
広島市	9.0	8.3	2.0	0.8	0.7
北九州市	8.2	10.9	2.8	0.6	△ 2.7
福岡市	9.6	7.3	2.3	1.4	2.4
熊本市	9.5	9.1	1.6	0.6	0.4

注：1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡率を加えたものを出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

死産率 ¹⁾	自然死産率 (出 産 千 対)	人工死産率	周産期死亡率 ²⁾	婚 姻 率 (人 口 千 対)	離 婚 率	都 道 府 県 (21大都市)
22.0	10.6	11.4	3.7	5.1	1.80	全 国
28.0	11.0	17.0	4.1	4.7	2.09	北 海 道
24.4	11.5	12.9	4.6	4.2	1.74	青 森 県
24.0	12.7	11.3	3.5	4.1	1.53	岩 手 県
23.1	10.9	12.2	3.5	4.9	1.71	宮 城 県
21.7	11.2	10.5	2.9	3.5	1.50	秋 田 県
22.6	11.7	10.9	4.1	4.0	1.35	山 形 県
24.7	13.1	11.5	5.1	4.7	1.70	福 島 県
22.0	11.2	10.8	4.2	4.7	1.80	茨 城 県
20.9	8.8	12.0	3.3	4.9	1.74	栃 木 県
22.8	11.0	11.8	4.2	4.6	1.79	群 馬 県
23.5	11.6	11.8	3.7	4.9	1.77	埼 玉 県
23.0	12.9	10.1	3.8	4.9	1.78	千 葉 県
20.8	9.9	10.9	3.2	6.6	1.84	東 京 都
20.0	10.0	10.0	3.9	5.4	1.81	神 奈 川 県
20.9	10.6	10.3	3.7	4.1	1.39	新 潟 県
21.2	12.0	9.2	5.0	4.3	1.40	富 山 県
20.3	11.2	9.1	5.2	4.5	1.49	石 川 県
23.1	12.5	10.5	4.5	4.5	1.54	福 山 県
22.4	9.5	12.9	2.8	4.6	1.75	山 梨 県
20.4	10.1	10.3	3.0	4.6	1.62	山 長 県
20.3	9.4	10.9	3.6	4.4	1.56	岐 阜 県
18.7	9.2	9.5	3.7	4.8	1.78	静 岡 県
19.2	10.0	9.2	3.8	5.6	1.79	愛 知 県
20.0	10.0	9.9	3.8	4.8	1.75	三 重 県
19.7	10.0	9.7	4.5	4.9	1.66	滋 賀 県
21.3	9.8	11.5	4.4	4.8	1.72	京 都 府
21.1	9.6	11.5	3.3	5.4	2.09	大 阪 府
20.4	10.7	9.7	3.3	4.8	1.79	兵 庫 県
21.3	10.6	10.8	5.3	4.2	1.70	和 歌 山 県
24.6	8.5	16.1	2.4	4.5	1.97	鳥 取 県
21.4	11.6	9.7	5.2	4.7	1.74	島 根 県
18.9	7.2	11.7	2.3	4.3	1.48	島 山 県
21.6	8.7	12.9	3.5	4.9	1.73	岡 山 県
20.0	9.5	10.5	3.4	4.9	1.76	岡 山 県
19.2	9.8	9.5	4.2	4.2	1.74	山 口 県
21.5	10.7	10.9	3.7	4.3	1.61	徳 島 県
21.2	10.3	10.9	3.4	4.8	1.82	香 川 県
23.7	10.1	13.6	2.7	4.4	1.74	愛 媛 県
21.5	10.7	10.8	3.6	4.2	1.87	高 知 県
25.1	10.7	14.4	3.9	5.5	1.99	高 岡 県
22.6	11.3	11.2	3.4	4.5	1.63	佐 賀 県
24.3	12.5	11.9	3.1	4.5	1.68	長 崎 県
25.8	10.9	14.9	2.8	4.6	1.85	熊 本 県
30.4	11.9	18.5	5.2	4.6	1.78	熊 本 県
29.4	13.0	16.3	3.6	4.6	2.10	大 宮 市
26.1	12.2	13.9	4.1	4.7	1.88	鹿 児 島 県
24.4	11.7	12.7	3.2	6.1	2.53	沖 縄 県
21.2	9.8	11.3	3.2	7.2	1.88	(再 掲)
28.4	10.6	17.8	4.3	5.5	2.30	東 京 都 区 部
21.5	10.2	11.3	3.2	5.6	1.71	札 幌 市
21.1	9.8	11.3	3.1	5.3	1.61	仙 台 市
25.2	16.2	9.0	4.7	4.7	1.76	さい たま 市
19.0	9.5	9.5	4.0	5.3	1.76	千 葉 市
19.9	10.5	9.4	3.4	7.0	1.74	横 浜 市
23.7	10.3	13.4	4.4	4.8	1.89	川 崎 市
20.8	9.3	11.4	3.2	4.5	1.43	相 模 原 市
22.6	10.6	12.0	3.1	4.8	1.72	新 潟 市
16.0	9.3	6.7	3.2	5.1	1.64	静 岡 市
20.3	9.9	10.4	4.0	6.0	1.86	浜 松 市
22.1	10.5	11.6	4.3	5.2	1.73	名 古 屋 市
22.1	9.8	12.3	3.4	6.6	2.31	京 都 市
20.0	9.0	11.0	4.0	5.0	2.12	大 阪 市
20.6	9.7	10.9	2.4	4.9	1.85	堺 市
21.1	8.2	12.9	3.6	5.4	1.82	神 戸 市
18.9	8.9	9.9	3.2	5.3	1.82	岡 山 市
30.6	12.1	18.5	4.4	5.2	1.94	広 島 市
23.5	10.7	12.8	4.4	6.4	1.98	北 九 州 市
23.1	9.0	14.1	2.8	5.3	1.95	福 岡 市
						熊 本 市

第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対), 都道府県(21大都市再掲)別

都道府県 (21大都市)	全死因		02100 悪性新生物		09200 心疾患		10200 肺炎		09300 脳血管疾患		18100 老衰	
	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率
全 国	1 290 428	1 029.4	370 131	295.2	195 933	156.3	120 846	96.4	111 875	89.2	84 755	67.6
北海道	60 669	1 131.3	19 089	355.9	9 149	170.6	5 639	105.1	4 872	90.8	3 033	56.6
青森	17 149	1 314.1	5 035	385.8	2 582	197.9	1 765	135.2	1 704	130.6	1 027	78.7
岩手	16 502	1 294.3	4 402	345.3	2 863	224.5	1 378	108.1	1 925	151.0	1 080	84.7
宮城	23 067	993.8	6 578	283.4	3 485	150.2	1 838	79.2	2 294	98.8	1 867	80.4
秋田	14 794	1 450.4	4 162	408.0	2 132	209.0	1 354	132.7	1 571	154.0	981	96.2
山形	14 961	1 338.2	4 005	358.2	2 223	198.8	1 380	123.4	1 656	148.1	1 280	114.5
福島	24 205	1 270.6	6 298	330.6	4 107	215.6	2 026	106.4	2 478	130.1	1 873	98.3
茨城	31 024	1 078.0	8 818	306.4	4 717	163.9	3 144	109.2	3 018	104.9	2 084	72.4
栃木	20 520	1 054.5	5 500	282.6	3 380	173.7	1 917	98.5	2 237	115.0	1 396	71.7
群馬	21 519	1 112.1	5 911	305.5	3 412	176.3	2 244	116.0	2 013	104.0	1 332	68.8
埼玉	62 561	874.2	18 807	262.8	10 117	141.4	6 375	89.1	5 137	71.8	3 292	46.0
千葉	56 073	914.4	16 431	268.0	9 867	160.9	5 464	89.1	4 620	75.3	3 560	58.1
東京都	111 657	850.1	33 509	255.1	16 865	128.4	9 981	76.0	9 063	69.0	7 021	53.5
神奈川	75 759	842.8	23 192	258.0	10 883	121.1	6 204	69.0	6 215	69.1	5 651	62.9
新潟	28 297	1 233.5	7 781	339.2	4 021	175.3	2 343	102.1	3 123	136.1	2 426	105.8
富山	12 731	1 205.6	3 563	337.4	1 734	164.2	1 308	123.9	1 228	116.3	810	76.7
石川	12 280	1 073.4	3 481	304.3	1 883	164.6	1 233	107.8	1 130	98.8	801	70.0
福井	8 971	1 154.6	2 445	314.7	1 423	183.1	896	115.3	753	96.9	600	77.2
山梨	9 635	1 169.3	2 525	306.4	1 306	158.5	864	104.9	918	111.4	884	107.3
長野	24 534	1 182.9	6 218	299.8	3 772	181.9	1 834	88.4	2 705	130.4	2 251	108.5
岐阜	21 996	1 100.9	6 066	303.6	3 492	174.8	1 925	96.3	1 880	94.1	1 768	88.5
静岡	39 518	1 083.9	10 566	289.8	5 708	156.6	3 167	86.9	3 822	104.8	3 874	106.3
愛知	64 057	875.1	18 900	258.2	8 481	115.9	5 348	73.1	5 181	70.8	4 447	60.8
三重	20 138	1 129.4	5 320	298.4	2 904	162.9	1 851	103.8	1 809	101.5	1 783	100.0
滋賀	12 507	897.2	3 606	258.7	2 061	147.8	1 095	78.6	910	65.3	754	54.1
京都	25 471	991.1	7 562	294.2	4 292	167.0	2 270	88.3	2 084	81.1	1 549	60.3
大阪	83 578	962.9	26 037	300.0	12 904	148.7	8 652	99.7	5 749	66.2	3 522	40.6
兵庫県	55 391	1 013.9	16 410	300.4	8 195	150.0	4 958	90.8	4 585	83.9	3 439	63.0
奈良	13 920	1 026.5	4 046	298.4	2 498	184.2	1 372	101.2	1 070	78.9	793	58.5
和歌山	12 549	1 308.6	3 404	355.0	2 089	217.8	1 265	131.9	940	98.0	988	103.0
鳥取	7 272	1 275.8	2 046	358.9	1 008	176.8	566	99.3	713	125.1	667	117.0
島根	9 604	1 393.9	2 528	366.9	1 392	202.0	757	109.9	879	127.6	917	133.1
岡山	21 525	1 130.5	5 589	293.5	3 327	174.7	2 395	125.8	1 854	97.4	1 503	78.9
広島	29 880	1 063.3	8 243	293.3	4 803	170.9	2 980	106.0	2 429	86.4	2 139	76.1
山口	18 210	1 306.3	4 994	358.2	2 967	212.8	2 109	151.3	1 579	113.3	1 212	86.9
徳島	9 848	1 309.6	2 489	331.0	1 414	188.0	1 086	144.4	830	110.4	708	94.1
香川	11 593	1 196.4	3 024	312.1	1 970	203.3	812	83.8	990	102.2	842	86.9
愛媛	17 585	1 277.1	4 599	334.0	3 187	231.4	1 652	120.0	1 506	109.4	1 380	100.2
高知	10 020	1 382.1	2 678	369.4	1 740	240.0	1 150	158.6	870	120.0	567	78.2
福岡	50 258	994.2	15 370	304.1	5 579	110.4	5 110	101.1	3 906	77.3	2 225	44.0
佐賀	9 704	1 170.6	2 698	325.5	1 259	151.9	1 102	132.9	838	101.1	517	62.4
長崎	16 855	1 230.3	4 804	350.7	2 599	189.7	1 676	122.3	1 350	98.5	946	69.1
熊本	20 692	1 163.8	5 476	308.0	3 154	177.4	1 990	111.9	1 713	96.3	1 456	81.9
大分	13 958	1 205.4	3 648	315.0	2 026	175.0	1 502	129.7	1 207	104.2	804	69.4
宮崎	13 497	1 227.0	3 619	329.0	2 225	202.3	1 437	130.6	1 336	121.5	744	67.6
鹿児島	21 354	1 300.5	5 379	327.6	3 069	186.9	2 474	150.7	2 219	135.1	1 322	80.5
沖縄	11 326	795.9	3 121	219.3	1 544	108.5	899	63.2	883	62.1	631	44.3
外国	143	.	28	.	18	.	2	.	7	.	-	.
(再掲)												
東京都区部	75 942	819.0	22 760	245.5	11 523	124.3	6 666	71.9	6 039	65.1	4 708	50.8
札幌市	17 523	896.9	5 764	295.0	2 302	117.8	1 567	80.2	1 360	69.6	715	36.6
仙台市	8 433	779.3	2 509	231.8	1 131	104.5	592	54.7	816	75.4	704	65.1
さいたま市	9 874	781.0	2 862	226.4	1 485	117.5	952	75.3	779	61.6	679	53.7
千葉市	8 002	822.7	2 356	242.2	1 318	135.5	822	84.5	661	68.0	401	41.2
横浜市	30 348	814.5	9 446	253.5	4 304	115.5	2 373	63.7	2 456	65.9	2 347	63.0
川崎市	10 409	705.6	3 167	214.7	1 486	100.7	846	57.3	845	57.3	672	45.6
相模原市	5 655	784.4	1 769	245.4	939	130.3	507	70.3	482	66.9	343	47.6
新潟市	8 251	1 018.0	2 495	307.8	1 139	140.5	723	89.2	854	105.4	568	70.1
静岡市	7 788	1 104.3	2 077	294.5	1 156	163.9	584	82.8	703	99.7	786	111.5
浜松市	7 901	989.8	2 049	256.7	1 083	135.7	645	80.8	785	98.3	913	114.4
名古屋市	20 965	913.1	6 314	275.0	2 764	120.4	1 735	75.6	1 592	69.3	1 329	57.9
京都市	13 744	932.1	4 205	285.2	2 324	157.6	1 171	79.4	1 104	74.9	815	55.3
大阪市	27 519	1 022.3	8 303	308.5	3 727	138.5	2 904	107.9	2 014	74.8	1 050	39.0
堺市	8 129	967.9	2 575	306.6	1 203	143.2	895	106.6	565	67.3	355	42.3
神戸市	15 168	986.3	4 632	301.2	2 087	135.7	1 323	86.0	1 171	76.1	931	60.5
岡山市	6 555	910.9	1 766	245.4	922	128.1	654	90.9	554	77.0	470	65.3
広島市	9 926	831.0	2 940	246.1	1 553	130.0	929	77.8	768	64.3	672	56.3
北九州市	10 504	1 092.1	3 228	335.6	1 203	125.1	1 026	106.7	837	87.0	421	43.8
福岡市	11 166	725.8	3 606	234.4	1 187	77.2	1 026	66.7	809	52.6	474	30.8
熊本市	6 767	913.1	1 942	262.0	991	133.7	571	77.0	521	70.3	421	56.8

注：1)全国値には、住所地不詳を含む。

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

A 期間合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の合計特殊出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

B コーホート合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の合計特殊出生率」である。

- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。

なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。

- ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代の年齢別出生率の合計であるBのコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。

2. 平成27年における状況

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみて、5年ごとの出生率を合計し、算出した^{*}。

例えば1976～1980年生まれ（平成27年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は1.40であるが、40歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、1.40に今後の40歳以上での出生率を加えた値となり、晩産化の進行により40歳以上の出生率（平成27年0.0573）が上昇傾向であることから、少なくとも平成27年の期間合計特殊出生率（1.46）を上回ると見込まれる。

^{*} 各年の各年齢別出生率を合計したより精密なコーホート合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和60年 (1985)	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	12年 (2000)	17年 (2005)	22年 (2010)	平成27年 (2015)
母の年齢	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.46
15～19歳	0.0229	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253	0.0232	0.0207
20～24	0.3173	0.2357	0.2022	0.1965	0.1823	0.1781	0.1449
25～29	0.8897	0.7031	0.5880	0.4967	0.4228	0.4356	0.4237
30～34	0.4397	0.4663	0.4677	0.4620	0.4285	0.4789	0.5215
35～39	0.0846	0.1079	0.1311	0.1572	0.1761	0.2318	0.2878
40～44	0.0094	0.0113	0.0148	0.0194	0.0242	0.0387	0.0558
45～49	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008	0.0010	0.0015

② 各世代(コホート)別にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1966-1970 45～49歳の世代	1971-1975 40～44歳の世代	1976-1980 35～39歳の世代	1981-1985 30～34歳の世代	1986-1990 25～29歳の世代	1991-1995 20～24歳の世代	1996-2000 15～19歳の世代
母の年齢							
15～19歳	0.0229	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253	0.0232	0.0207
20～24	0.2357	0.2022	0.1965	0.1823	0.1781	0.1449	
25～29	0.5880	0.4967	0.4228	0.4356	0.4237		
30～34	0.4620	0.4285	0.4789	0.5215			
35～39	0.1761	0.2318	0.2878				
40～44	0.0387	0.0558					
45～49	0.0015						
コホート 合計特殊出生率	1.52	1.43	1.40	1.17	0.63	0.17	0.02

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

	1966-1970 45～49歳の世代	1971-1975 40～44歳の世代	1976-1980 35～39歳の世代	1981-1985 30～34歳の世代	1986-1990 25～29歳の世代	1991-1995 20～24歳の世代	1996-2000 15～19歳の世代
母の年齢							
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02
15～24	0.26	0.22	0.22	0.21	0.20	0.17	
15～29	0.85	0.72	0.64	0.64	0.63		
15～34	1.31	1.15	1.12	1.17			
15～39	1.48	1.38	1.40				
15～44	1.52	1.43					
15～49	1.52						

注：「15～19歳の世代」は平成8～12年生まれ、「20～24歳の世代」は平成3年～7年生まれ、
「25～29歳の世代」は昭和61～平成2年生まれ、「30～34歳の世代」は昭和56～60年生まれ、
「35～39歳の世代」は昭和51～55年生まれ、「40～44歳の世代」は昭和46～50年生まれ、
「45～49歳の世代」は昭和41～45年生まれ。

出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は、次の式のように「女性人口（15～49歳）」と「(期間)合計特殊出生率」、「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」の3つの要素に分解できる。以下、この3要素を「女性人口」、「合計特殊出生率」、「年齢構成の違い」とする。

$$\text{出生数} = \text{女性人口 (15～49歳)} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^{1)}} \times \text{(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い}^{2)}$$

出生数がこのように3要素に分解できることから、出生数の動向は、「合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口」と「年齢構成の違い」の動向の影響を受ける。

平成26年	100.4万人	=	2,567万人	×	$\frac{1.42}{35}$	×	0.962
	↓ 0.2%		↓ △1.0%		↓ 2.3%		↓ △1.1%
平成27年	100.6万人	=	2,541万人	×	$\frac{1.46}{35}$	×	0.952

※平成26年の合計特殊出生率を用いると、平成27年の出生数は前年より△2.1%であったと見込まれる。

平成26年から27年の動向をみると、「女性人口」が減少し、「年齢構成の違い」が低下したものの、「合計特殊出生率」が上昇したことにより、出生数が増加したことが分かる。

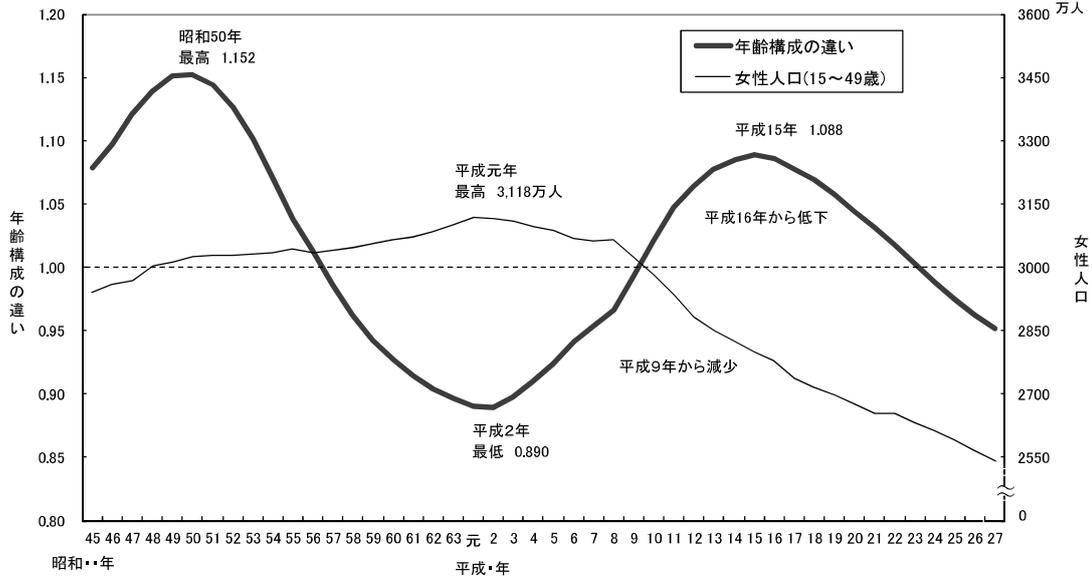
同様に、昭和45年以降の3要素の動向をみると次頁の通りであるが、

- (1) 「女性人口」は平成9年から減少傾向にある。
- (2) 「合計特殊出生率」は、平成17年まで低下傾向で推移したが、平成18年に上昇傾向に転じた。
- (3) 「年齢構成の違い」は、昭和51年、平成3年、16年を転換年として上昇と低下を繰り返し、16年以降は低下傾向にある。

「女性人口」の減少傾向と「年齢構成の違い」の低下傾向は今後も続くことから、「合計特殊出生率」が変わらなければ、出生数は今後も減少することになる。

- 注：1) (期間)合計特殊出生率は15～49までの35歳の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口（15～49歳）を乗じて出生数となるように35で除している。
- 2) 「年齢構成の違い」は、「女性人口」×「合計特殊出生率」/35が「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に当該合計特殊出生率で見込まれる出生数」となることから、「実際の年齢構成がどの年齢の女性の人数も同じという年齢構成とどのくらい違うか表すもの」である。出生率の高い年齢層に女性の人数が相対的に多くなっている場合には、「年齢構成の違い」は概ね1より大きくなる。

「女性人口(15~49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



(期間) 合計特殊出生率を用いた出生数の構造分析

年次	実 数				対前年増減率 (%)			
	出生数(人) ①×②/35×③	女性人口 (15~49歳) (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出 生 数	女性人口 (15~49歳) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③
昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1
20	1 091 156	26 757	1.37	1.044	0.1	△ 0.8	2.2	△ 1.2
21	1 070 035	26 531	1.37	1.032	△ 1.9	△ 0.8	0.1	△ 1.2
22	1 071 304	26 535	1.39	1.019	0.1	0.0	1.4	△ 1.3
23	1 050 806	26 337	1.39	1.002	△ 1.9	△ 0.7	0.4	△ 1.6
24	1 037 231	26 135	1.41	0.988	△ 1.3	△ 0.8	0.9	△ 1.4
25	1 029 816	25 915	1.43	0.975	△ 0.7	△ 0.8	1.5	△ 1.4
26	1 003 539	25 667	1.42	0.962	△ 2.6	△ 1.0	△ 0.3	△ 1.3
27	1 005 656	25 407	1.46	0.952	0.2	△ 1.0	2.3	△ 1.1

注：1) 「女性人口(15~49歳)」の転換年は平成9年
 2) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年、平成18年
 3) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、16年

人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率		死亡率		乳児死亡率		婚姻率		離婚率		合計特殊出生率	
	(人口千対)		(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)		(人口千対)			
日本	2015)	*8.0	'15)	*10.3	'15)	*1.9	'15)	*5.1	'15)	*1.80	'15)	*1.46
韓国	'15)	*8.6	'15)	*5.4	'14)	3.0	'15)	5.9	'15)	2.1	'15)	*1.24
シンガポール	'14)	10.9	'14)	5.0	'14)	2.0	'14)	7.3	'14)	1.77	'14)	1.25
アメリカ	'14)	12.5	'13)	8.2	'13)	6.0	'14)	*6.9	'14)	*3.2	'14)	1.86
フランス	'14)	*12.0	'14)	*8.5	'13)	3.5	'13)	3.5	'13)	1.91	'14)	2.01
ドイツ	'14)	*8.7	'14)	*10.8	'13)	3.3	'13)	4.6	'13)	2.11	'14)	1.47
イタリア	'14)	8.3	'13)	10.0	'13)	2.9	'13)	3.2	'12)	0.86	'14)	1.37
スウェーデン	'14)	11.8	'14)	*9.1	'13)	2.7	'13)	5.4	'13)	2.81	'14)	1.88
イギリス	'14)	*12.1	'13)	9.0	'12)	4.1	'11)	4.5	'12)	2.05	'14)	*1.81

注：*印は暫定値である。

資料：(1) UN, Demographic Yearbook

(2) U.S. Department of Health and Human Services, National Vital Statistics Reports

(3) Eurostat, Population and Social Conditions

(4) 韓国統計庁資料

分母に用いた人口

① 年齢5歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
	人	人	人
総数	125 362 000	61 007 000	64 355 000
0～4歳	5 139 000	2 636 000	2 503 000
5～9	5 254 000	2 689 000	2 565 000
10～14	5 562 000	2 849 000	2 714 000
15～19	5 892 000	3 019 000	2 873 000
20～24	6 005 000	3 086 000	2 919 000
25～29	6 292 000	3 222 000	3 070 000
30～34	7 134 000	3 631 000	3 503 000
35～39	8 197 000	4 168 000	4 029 000
40～44	9 660 000	4 907 000	4 754 000
45～49	8 610 000	4 352 000	4 258 000
50～54	7 895 000	3 966 000	3 928 000
55～59	7 493 000	3 729 000	3 764 000
60～64	8 446 000	4 151 000	4 296 000
65～69	9 679 000	4 674 000	5 006 000
70～74	7 752 000	3 605 000	4 147 000
75～79	6 339 000	2 813 000	3 526 000
80～84	5 008 000	2 013 000	2 994 000
85～89	3 167 000	1 078 000	2 089 000
90～94	1 386 000	343 000	1 043 000
95～99	389 000	69 000	320 000
100歳以上	62 000	8 000	54 000

資料：「人口推計（平成27年10月1日現在）」（総務省統計局）

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総 数	男	女
全 国	125 362 000	61 007 000	64 355 000
北海道	5 363 000	2 528 000	2 835 000
青森	1 305 000	613 000	692 000
岩手	1 275 000	614 000	661 000
宮城	2 321 000	1 134 000	1 187 000
秋田	1 020 000	479 000	541 000
山形	1 118 000	538 000	579 000
福島	1 905 000	942 000	964 000
茨城	2 878 000	1 434 000	1 444 000
栃木	1 946 000	968 000	978 000
群馬	1 935 000	955 000	981 000
埼玉	7 156 000	3 576 000	3 580 000
千葉	6 132 000	3 054 000	3 078 000
東京都	13 135 000	6 479 000	6 656 000
神奈川県	8 989 000	4 493 000	4 496 000
新潟	2 294 000	1 111 000	1 182 000
富山	1 056 000	511 000	545 000
石川	1 144 000	554 000	591 000
福井	777 000	377 000	400 000
山梨	824 000	403 000	420 000
長野	2 074 000	1 011 000	1 063 000
岐阜	1 998 000	968 000	1 030 000
静岡県	3 646 000	1 794 000	1 852 000
愛知県	7 320 000	3 663 000	3 658 000
三重	1 783 000	867 000	916 000
滋賀	1 394 000	687 000	707 000
京都	2 570 000	1 230 000	1 340 000
大阪	8 680 000	4 180 000	4 499 000
兵庫	5 463 000	2 607 000	2 856 000
奈良	1 356 000	640 000	716 000
和歌山	959 000	451 000	508 000
鳥取	570 000	273 000	298 000
島根	689 000	330 000	358 000
岡山	1 904 000	914 000	990 000
広島	2 810 000	1 359 000	1 450 000
山口	1 394 000	660 000	734 000
徳島	752 000	359 000	394 000
香川	969 000	468 000	500 000
愛媛	1 377 000	650 000	727 000
高知	725 000	341 000	384 000
福岡	5 055 000	2 386 000	2 669 000
佐賀	829 000	391 000	438 000
長崎	1 370 000	641 000	728 000
熊本	1 778 000	838 000	940 000
大分	1 158 000	548 000	610 000
宮崎	1 100 000	517 000	583 000
鹿児島	1 642 000	771 000	871 000
沖縄	1 423 000	698 000	725 000

21大都市・男女別人口（総人口）

21大都市 (再掲)	総 数	男	女
東京都区部	9 272 565	4 565 097	4 707 468
札幌市	1 953 784	910 654	1 043 130
仙台市	1 082 185	527 059	555 126
さいたま市	1 264 253	627 174	637 079
千葉市	972 639	483 115	489 524
横浜市	3 726 167	1 855 986	1 870 181
川崎市	1 475 300	748 874	726 426
相模原市	720 914	361 035	359 879
新潟市	810 514	389 613	420 901
静岡市	705 238	343 411	361 827
浜松市	798 252	395 570	402 682
名古屋市	2 296 014	1 133 245	1 162 769
京都市	1 474 570	699 297	775 273
大阪市	2 691 742	1 302 569	1 389 173
堺市	839 891	402 562	437 329
神戸市	1 537 860	726 877	810 983
岡山市	719 584	345 944	373 640
広島市	1 194 507	576 937	617 570
北九州市	961 815	452 616	509 199
福岡市	1 538 510	726 267	812 243
熊本市	741 115	348 475	392 640

資料：「平成27年国勢調査人口速報集計結果」（総務省統計局）

(付表)
年齢調整死亡率の算出に用いた人口
基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総 数	120 287 000

資料：総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健社会統計課で推計。

③ 年齢5歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較

年齢階級	平成27年	平成26年	対前年増減
	人	人	人
総数	125 362 000	125 431 000	△ 69 000
0～4歳	5 139 000	5 157 000	△ 18 000
5～9	5 254 000	5 261 000	△ 7 000
10～14	5 562 000	5 669 000	△ 107 000
15～19	5 892 000	5 924 000	△ 32 000
20～24	6 005 000	5 989 000	16 000
25～29	6 292 000	6 462 000	△ 170 000
30～34	7 134 000	7 279 000	△ 145 000
35～39	8 197 000	8 513 000	△ 316 000
40～44	9 660 000	9 644 000	16 000
45～49	8 610 000	8 477 000	133 000
50～54	7 895 000	7 688 000	207 000
55～59	7 493 000	7 580 000	△ 87 000
60～64	8 446 000	8 920 000	△ 474 000
65～69	9 679 000	9 107 000	572 000
70～74	7 752 000	7 893 000	△ 141 000
75～79	6 339 000	6 244 000	95 000
80～84	5 008 000	4 855 000	153 000
85～89	3 167 000	3 054 000	113 000
90～94	1 386 000	1 302 000	84 000
95～99	389 000	351 000	38 000
100歳以上	62 000	60 000	2 000

資料：「人口推計（各年10月1日現在）」（総務省統計局）

④ 年齢5歳階級別人口（日本人女性人口）の対前年比較

年齢階級	平成27年	平成26年	対前年増減
	人	人	人
15～19歳	2 873 250	2 889 796	△ 16 546
20～24	2 918 781	2 912 741	6 040
25～29	3 070 491	3 158 262	△ 87 771
30～34	3 503 051	3 576 357	△ 73 306
35～39	4 029 440	4 184 542	△ 155 102
40～44	4 753 598	4 746 688	6 910
45～49	4 258 137	4 198 779	59 358
計	25 406 748	25 667 165	△ 260 417

資料：「人口推計（各年10月1日現在）」（総務省統計局）

平成27年は、総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健社会統計課で推計。

○本冊子は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

○リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。